

学園都市うえだビジョン
アンケート集計結果

令和7年12月

上田市

目次

| | | |
|---|--|----|
| 1 | 調査の概要 | 1 |
| | (1) 調査の目的 | 1 |
| | (2) 調査の対象 | 1 |
| | (3) 調査の方法 | 1 |
| | (4) 調査期間 | 1 |
| | (5) 調査票の配布・回収状況 | 1 |
| 2 | 大学等調査結果 | 2 |
| | (1) 今後の地域連携*の意向について | 2 |
| | (2) 貴学と上田市及び周辺自治体の企業との関係性について理想とする姿 | 9 |
| | (3) 学生の就職活動に対する支援として、今後、特に力を入れたい取組み | 10 |
| | (4) 貴学として考えられる「まちなかキャンパスうえだ」の活用方法 | 10 |
| 3 | 大学生・専門学校生調査結果 | 11 |
| | (1) 回答者の属性 | 11 |
| | (2) 上田地域の人材や資源を活用した学びについて | 14 |
| | (3) 地域との関わりについて | 15 |
| | (4) 上田市での生活について | 17 |
| | (5) 就職について | 18 |
| | (6) 上田市に対して感じていることや、これからどのような街になって欲しいかといった意見 | 19 |
| 4 | 高校生調査結果 | 20 |
| | (1) 回答者の属性 | 20 |
| | (2) ボランティア活動について | 22 |
| | (3) 進路について | 24 |
| | (4) 上田市に対して感じていることや、これからどのような街になって欲しいかといった意見 | 25 |
| 5 | 企業調査結果 | 26 |
| | (1) 回答企業の属性 | 26 |
| | (2) 人材育成（社員のスキルアップ）について | 27 |
| | (3) 大学との新卒学生の採用について | 28 |
| | (4) 産学連携について | 30 |

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、学園都市うえだビジョンの策定に当たり、市内の大学等、大学生・専門学校生、高校生、企業の実態やニーズを把握し、ビジョン策定に必要な基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査の対象

- ア 大学等（市内大学 3 校、短期大学 1 校、短期大学校 1 校）
- イ 大学生・専門学校生（1,000 人程度を想定）
- ウ 高校生（500 人程度を想定）
- エ 企業（370 社程度を想定）

(3) 調査の方法

- ア 大学等（メールで調査票のデータを配布・回収）
- イ 大学生・専門学校生（専用フォームを活用したWEBアンケート）
- ウ 高校生（専用フォームを活用したWEBアンケート）
- エ 企業（郵送で調査票を配布・回収及び専用フォームを活用したWEBアンケート）

(4) 調査期間

令和7年10月1日～11月30日

(5) 調査票の配布・回収状況

- ア 大学等（配布数 5 票、回収数 5 票、回収率 100%）
- イ 大学生・専門学校生（WEB 回答数 279 票）
- ウ 高校生（WEB 回答数 446 票）
- エ 企業（配布数 370 票、回収数 166 票、回収率 44.6%）

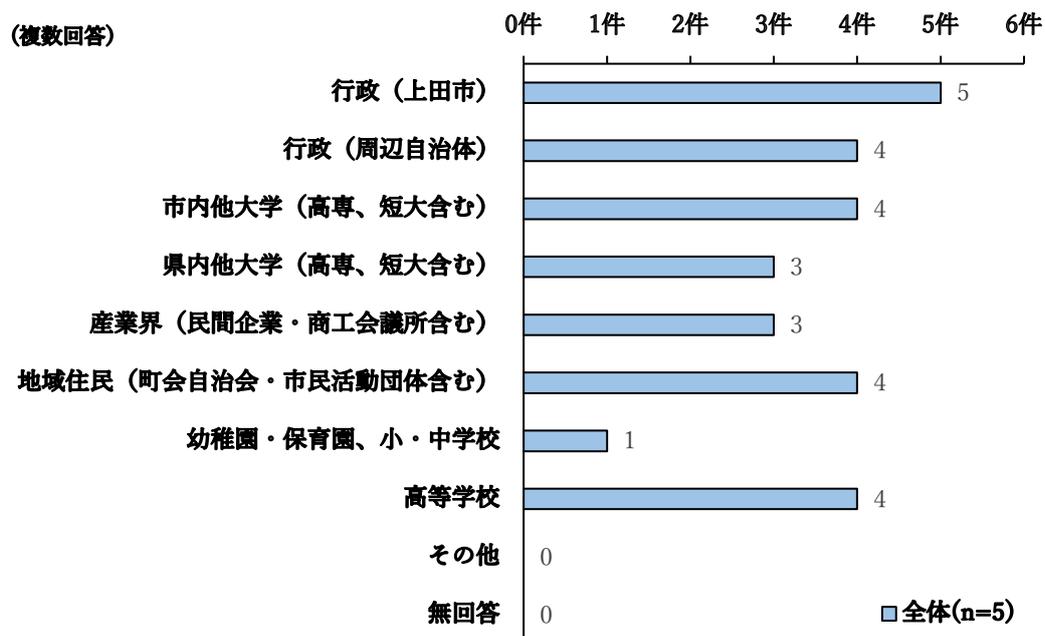
2 大学等調査結果

(1) 今後の地域連携※の意向について

※地域連携：ここでは「上田市及びその周辺自治体の市域、及びその市域内にある組織・団体・個人」と貴学との連携を指します。

①今後、連携に力を入れたい主体

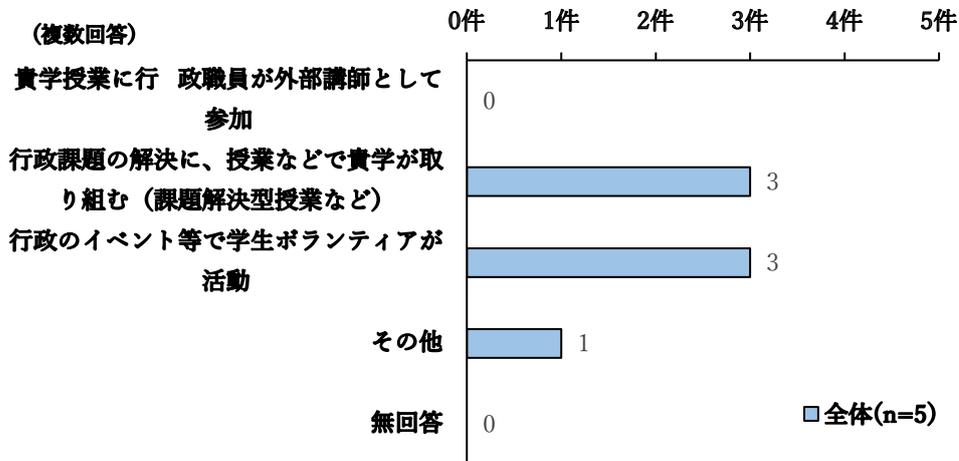
「行政（上田市）」が5件と最も多く、次いで「行政（周辺自治体）」、「市内他大学（高専、短大含む）」、「地域住民（町会自治会・市民活動団体を含む）」、「高等学校」が4件となっています。



②行政と連携することとなった場合の意向

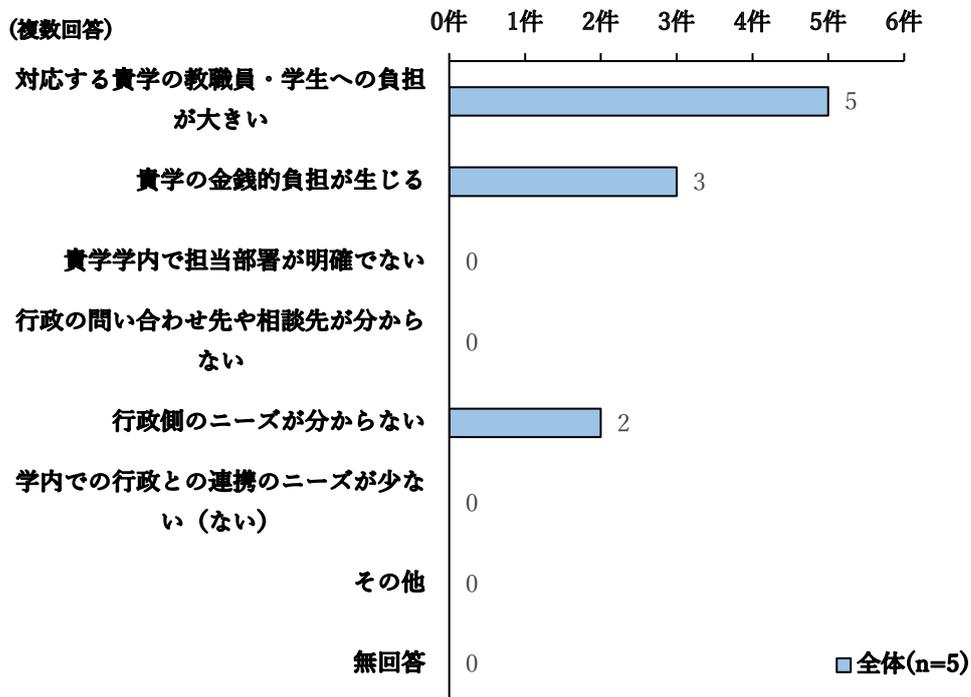
ア 推進したいと考える取組み

「行政課題の解決に、授業などで貴学が取り組む（課題解決型授業など）」と「行政のイベント等で学生ボランティアが活動」が3件と最も多くなっています。



イ 課題となる事項

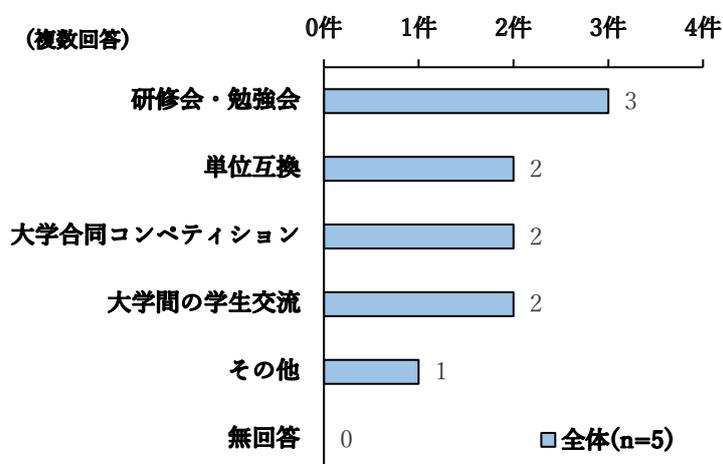
「対応する貴学の教職員・学生への負担が大きい」が5件と最も多く、次いで「貴学の金銭的負担が生じる」が3件、「行政側のニーズが分からない」が2件となっています。



③他大学（高専、短大含む）と連携することとなった場合の意向

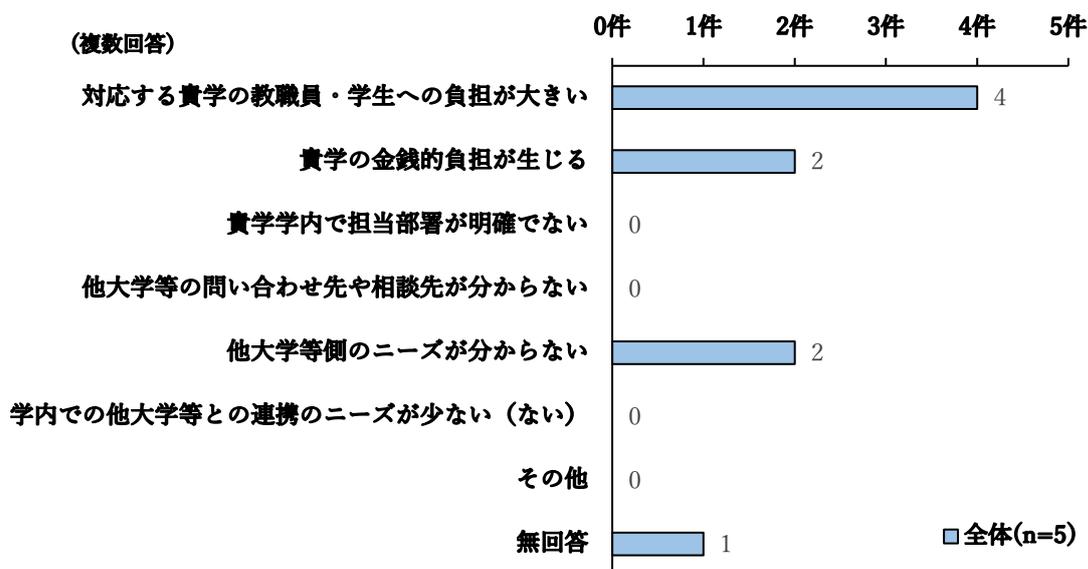
ア 推進したいと考える取組み

「研修会・勉強会」が3件と最も多くなっています。



イ 課題となる事項

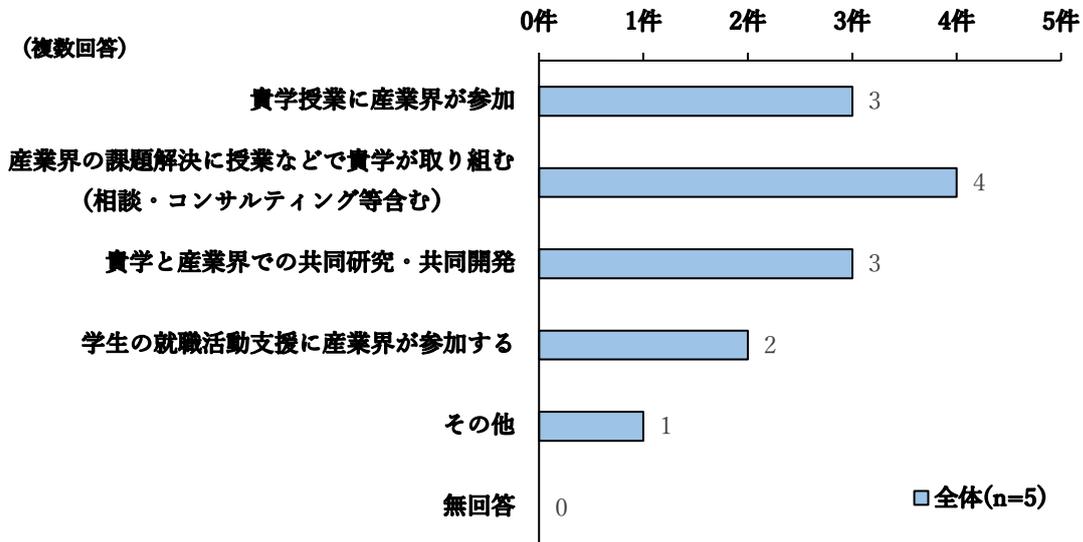
「対応する貴学の教職員・学生への負担が大きい」が4件と最も多く、次いで「貴学の金銭的負担が生じる」と「他大学等側のニーズが分からない」がそれぞれ2件となっています。



④産業界（民間企業や商工会議所を含む）と連携することとなった場合の意向

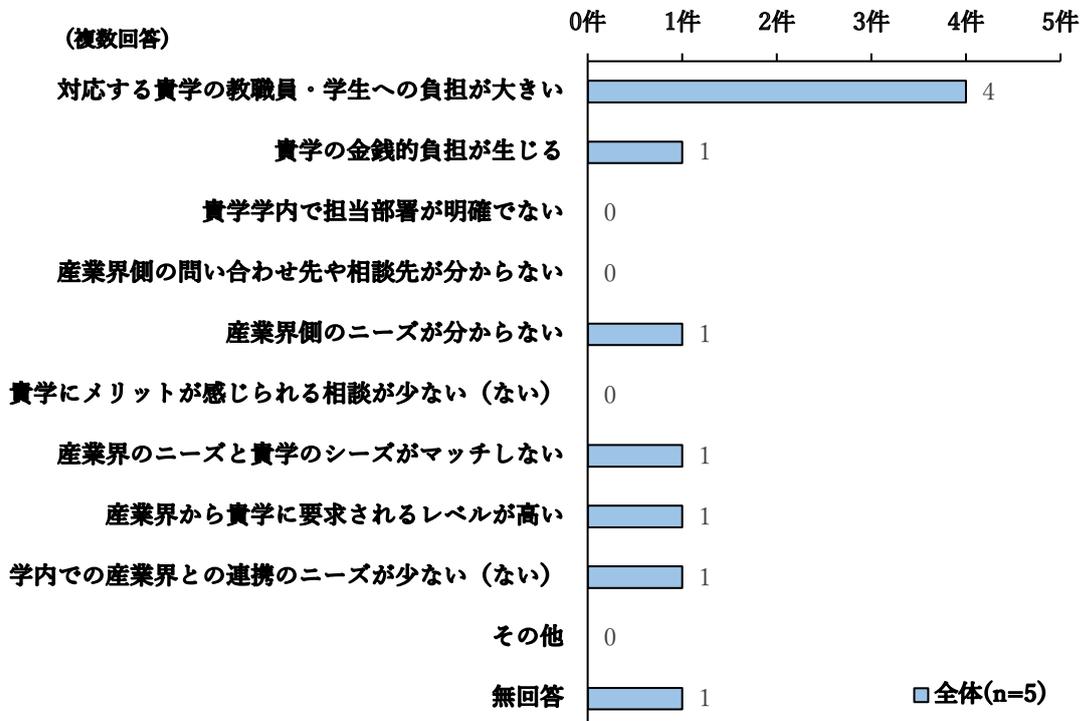
ア 推進したいと考える取組み

「産業界の課題解決に授業などで貴学が取り組む（相談・コンサルティング等含む）」が4件と最も多く、次いで「貴学授業に産業界が参加」と「貴学と産業界での共同研究・共同開発」がそれぞれ3件となっています。



イ 課題となる事項

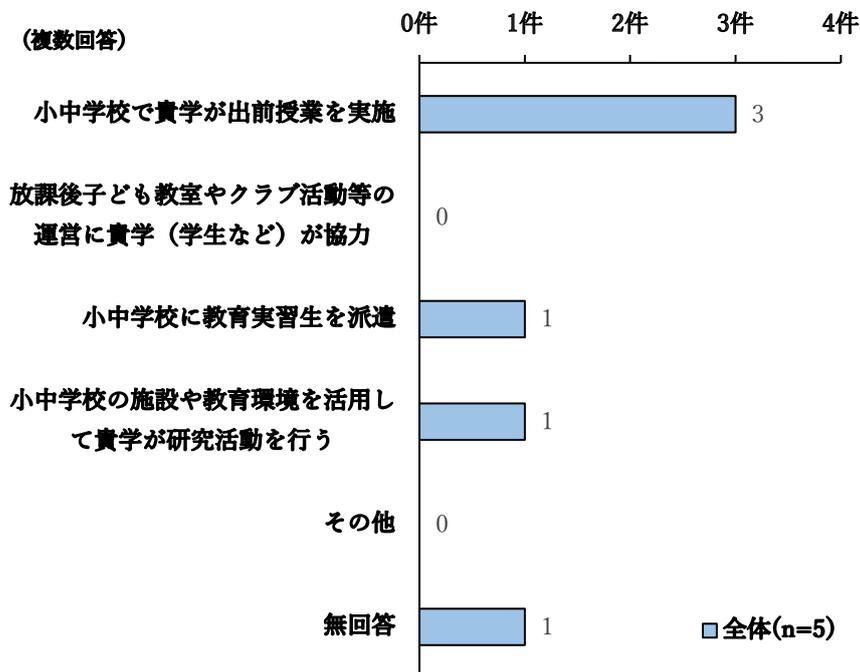
「対応する貴学の教職員・学生への負担が大きい」が4件と最も多くなっています。



⑤小中学校と連携することとなった場合の意向

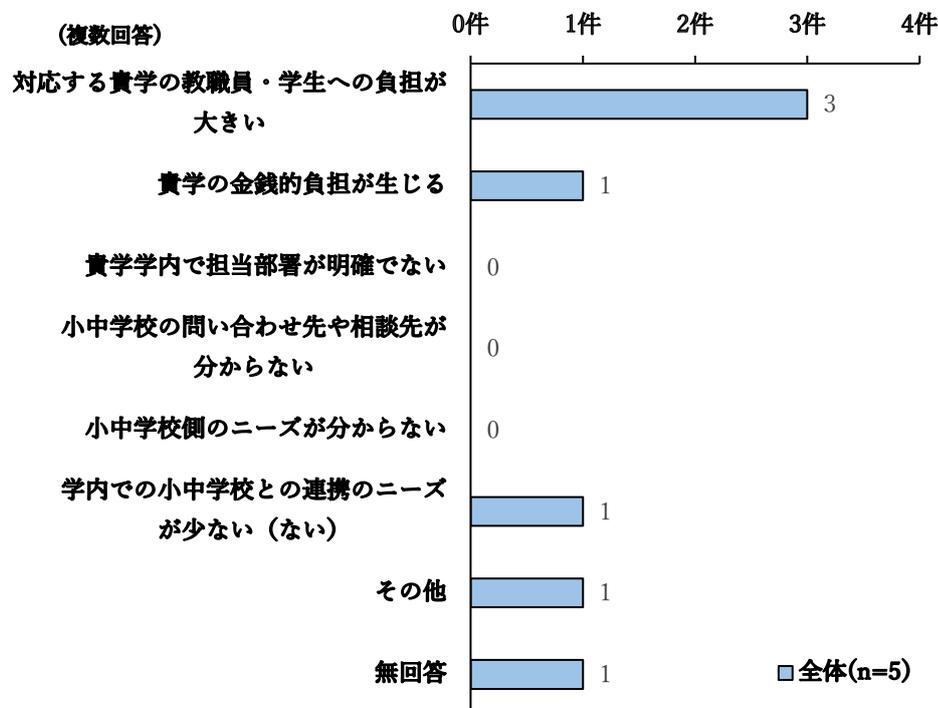
ア 推進したいと考える取組み

「小中学校で貴学が出前授業を実施」が3件と最も多くなっています。



イ 課題となる事項

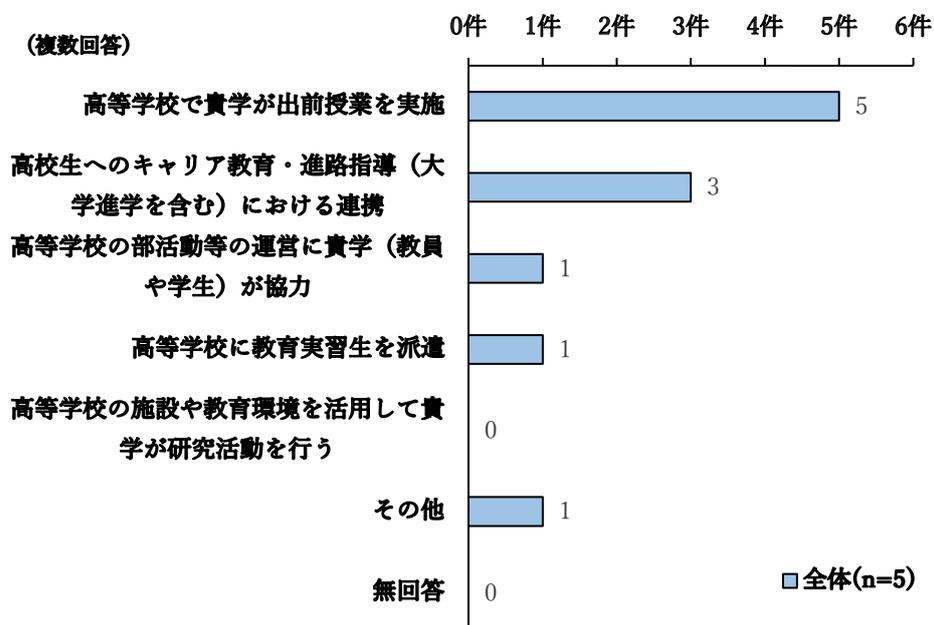
「対応する貴学の教職員・学生への負担が大きい」が3件と最も多くなっています。



⑥高等学校と連携することとなった場合の意向

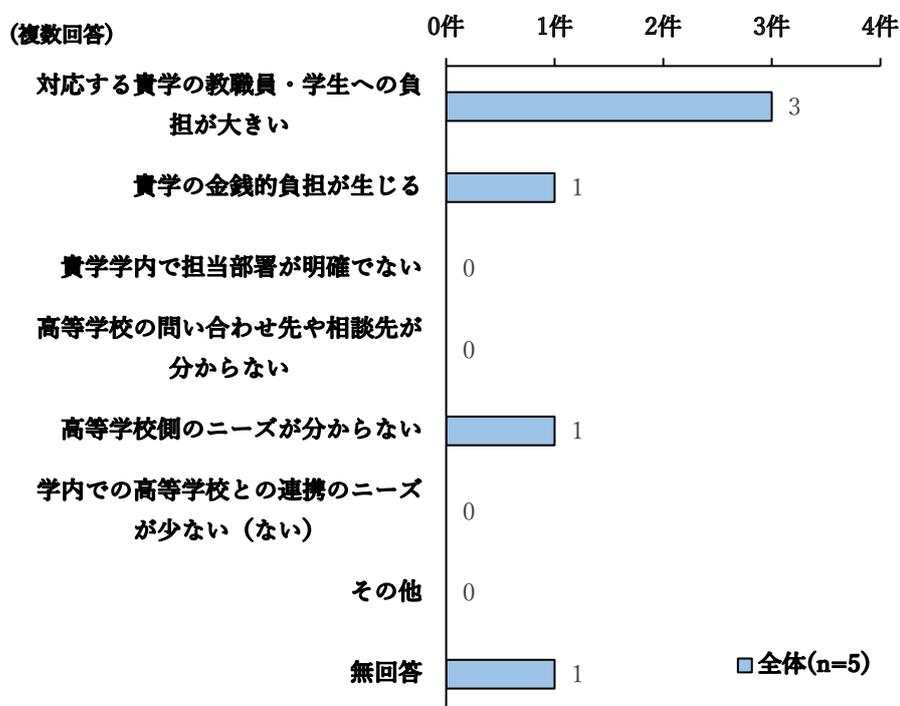
ア 推進したいと考える取組み

「高等学校で貴学が出前授業を実施」が5件と最も多く、次いで「高校生へのキャリア教育・進路指導（大学進学を含む）における連携」が3件となっています。



イ 課題となる事項

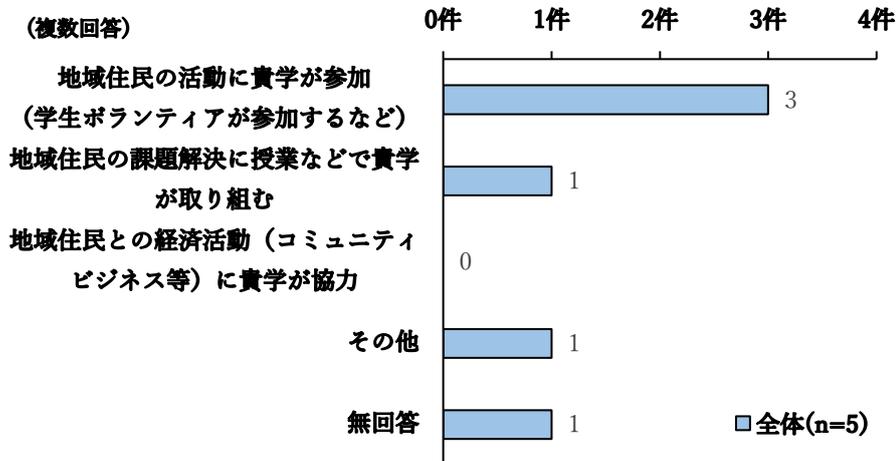
「対応する貴学の教職員・学生への負担が大きい」が3件と最も多くなっています。



⑦地域住民（自治会や市民団体など）と連携することとなった場合の意向

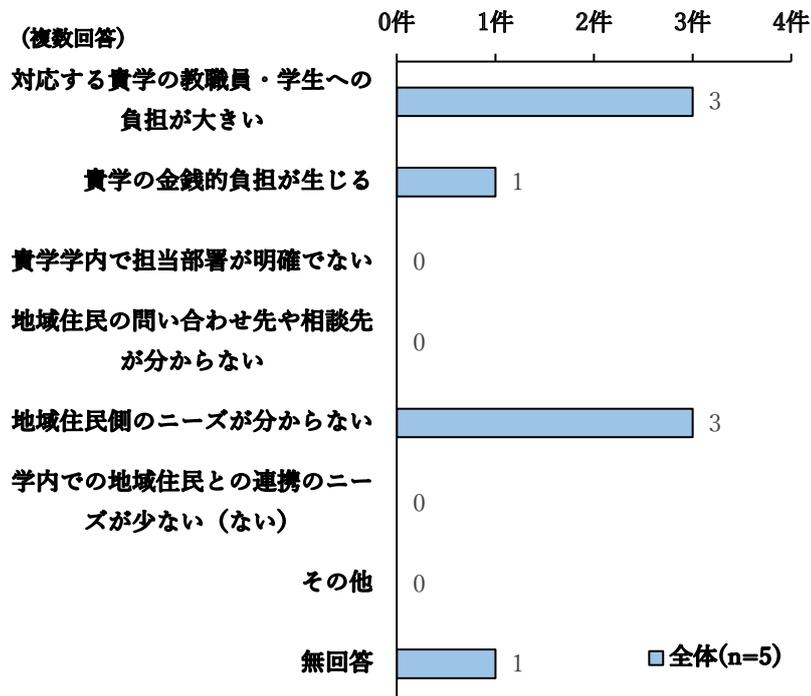
ア 推進したいと考える取組み

「地域住民の活動に貴学が参加（学生ボランティアが参加するなど）」が3件と最も多くなっています。



イ 課題となる事項

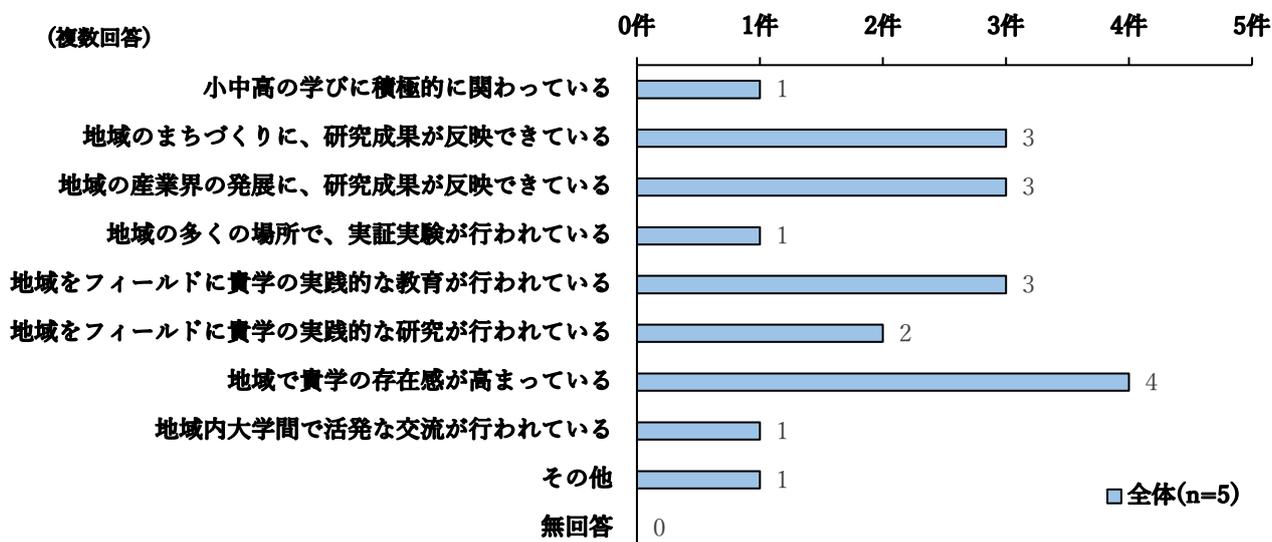
「対応する貴学の教職員・学生への負担が大きい」と「地域住民側のニーズが分からない」がそれぞれ3件と最も多くなっています。



⑧貴学と地域※の関係性について理想とする姿

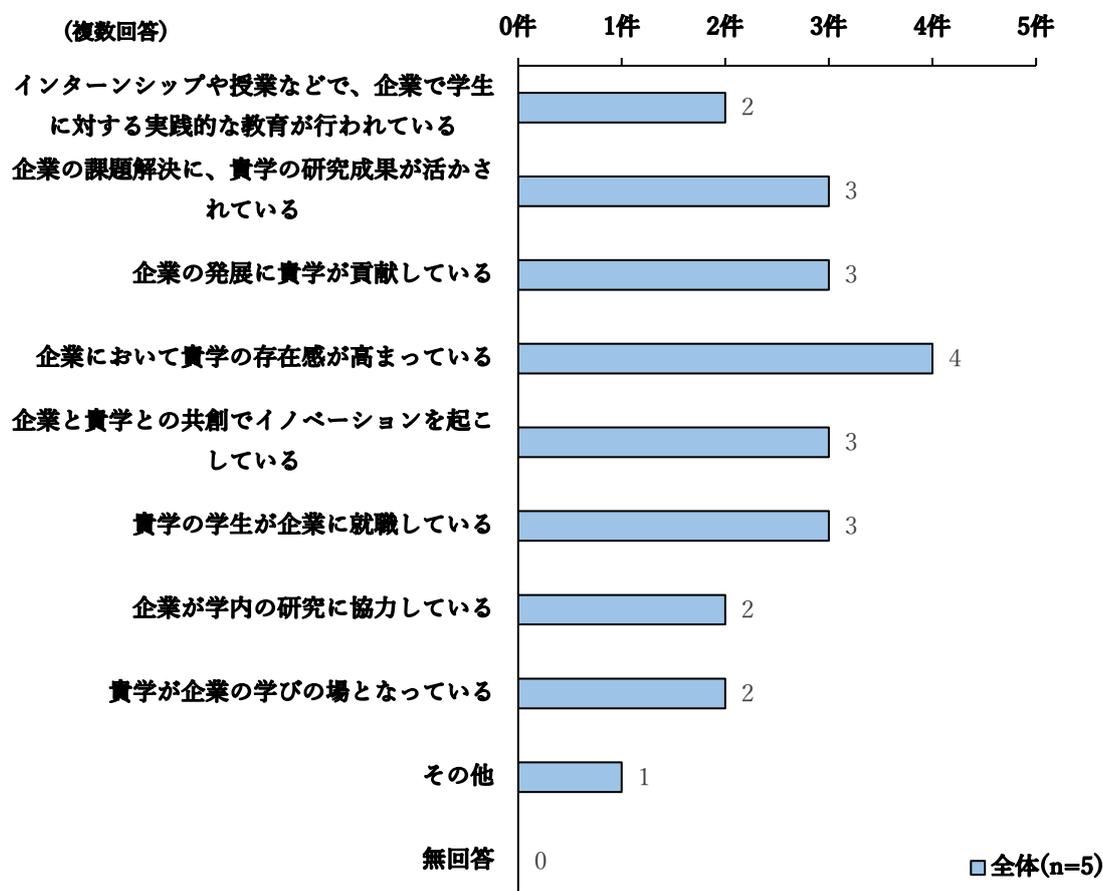
※地域：ここでは、上田市及びその周辺自治体、及びその市域内にある組織・団体・個人、他大学（高専や短大を含む）、産業界、小学校、中学校、高等学校、地域住民を指します。

「地域で貴学の存在感が高まっている」が4件と最も多くなっています。



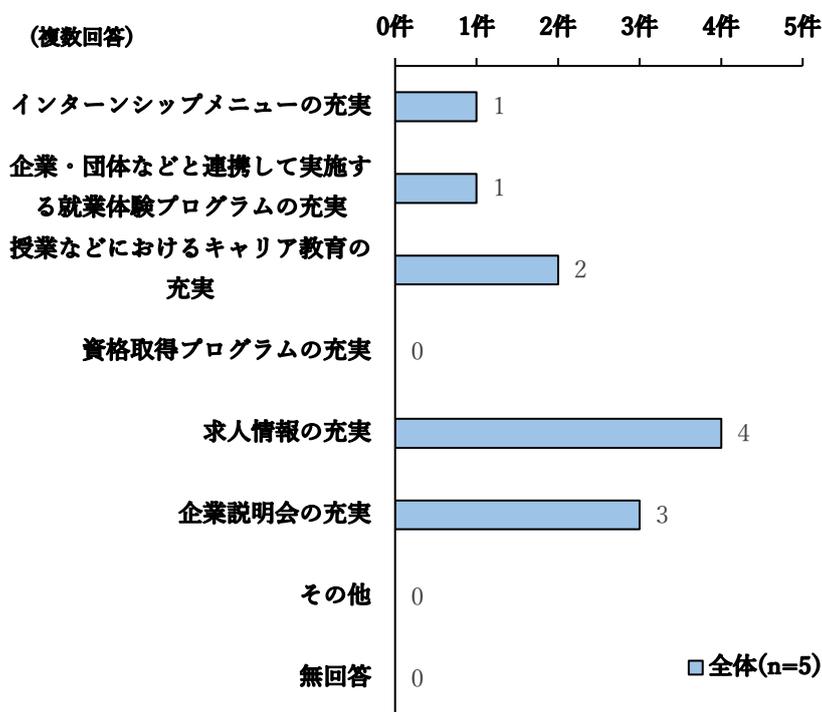
(2) 貴学と上田市及び周辺自治体の企業との関係性について理想とする姿

「企業において貴学の存在感が高まっている」が4件と最も多くなっています。



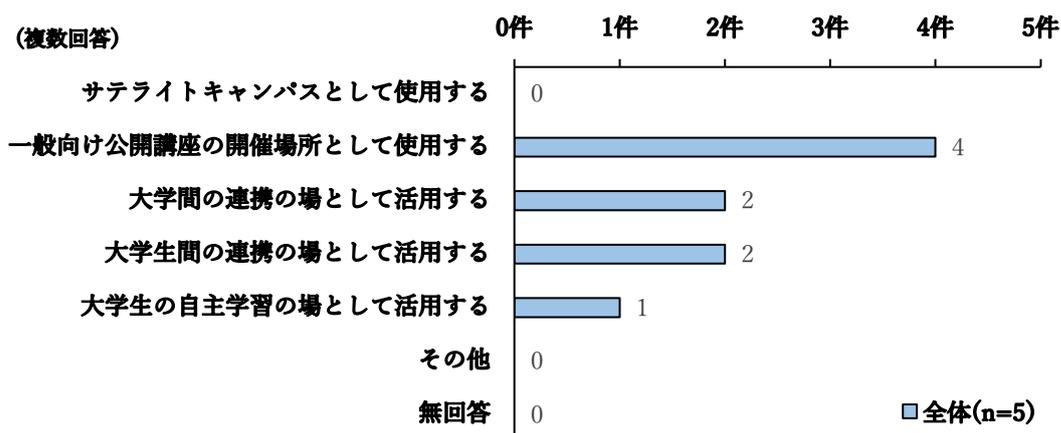
(3) 学生の就職活動に対する支援として、今後、特に力を入れたい取組み

「求人情報の充実」が4件と最も多く、次いで「企業説明会の充実」が3件、「授業などにおけるキャリア教育の充実」が2件となっています。



(4) 貴学として考えられる「まちなかキャンパスうえだ」の活用方法

「一般向け公開講座の開催場所として使用する」が4件と最も多く、次いで「大学間の連携の場として活用する」と「大学生間の連携の場として活用する」がそれぞれ2件となっています。

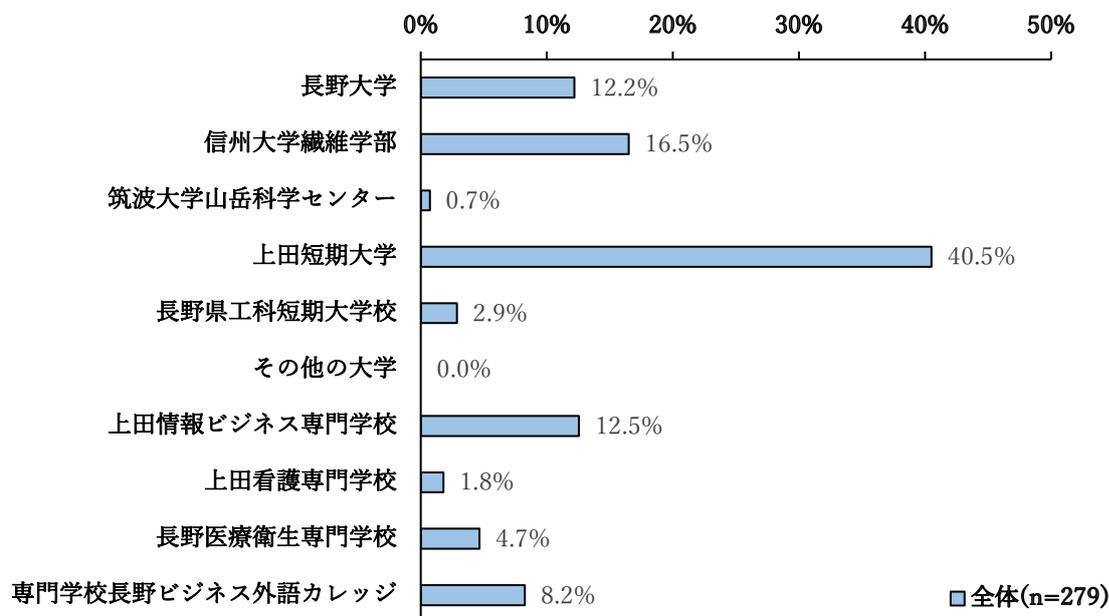


3 大学生・専門学校生調査結果

(1) 回答者の属性

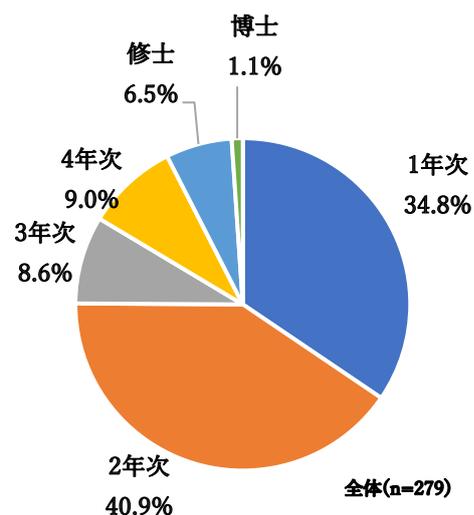
①学校名

「上田短期大学」が40.5%で最も多く、次いで「信州大学繊維学部」が16.5%、「上田情報ビジネス専門学校」が12.5%となっています。



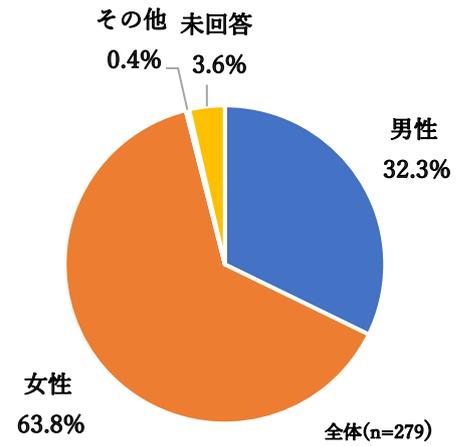
②学年

「2年次」が40.9%で最も多く、次いで「1年次」が34.8%、「4年次」が9.0%となっています。



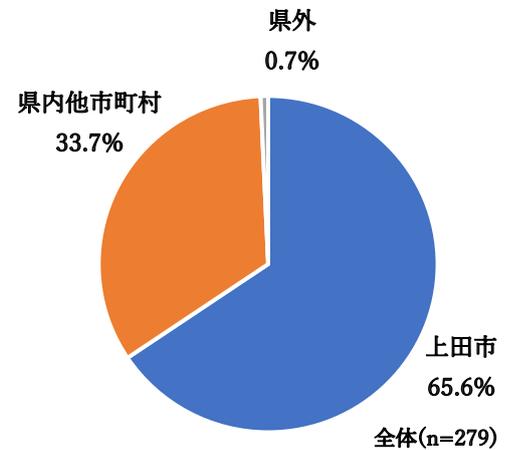
③性別

「男性」が32.3%、「女性」が63.8%、「その他」が0.4%、「未回答」が3.6%となっています。



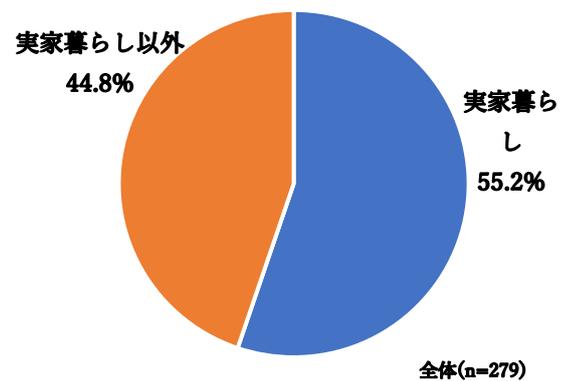
④居住地

「上田市」が65.6%、「県内各市町村」が33.7%、「県外」が0.7%となっています。



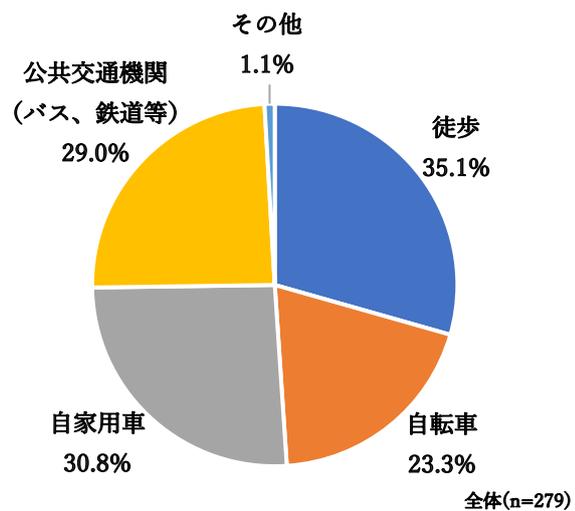
⑤居住形態

「実家暮らし」が55.2%、「実家暮らし以外」が44.8%となっています。



⑥主な通学方法

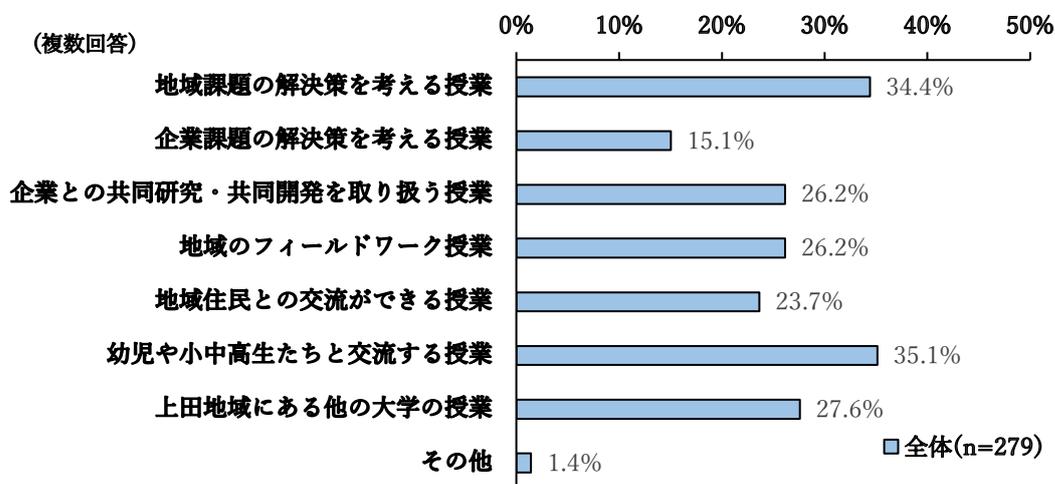
「徒歩」が35.1%で最も多く、次いで「自家用車」が30.8%、「公共交通機関（バス、鉄道等）」が29.0%となっています。



(2) 上田地域の人材や資源を活用した学びについて

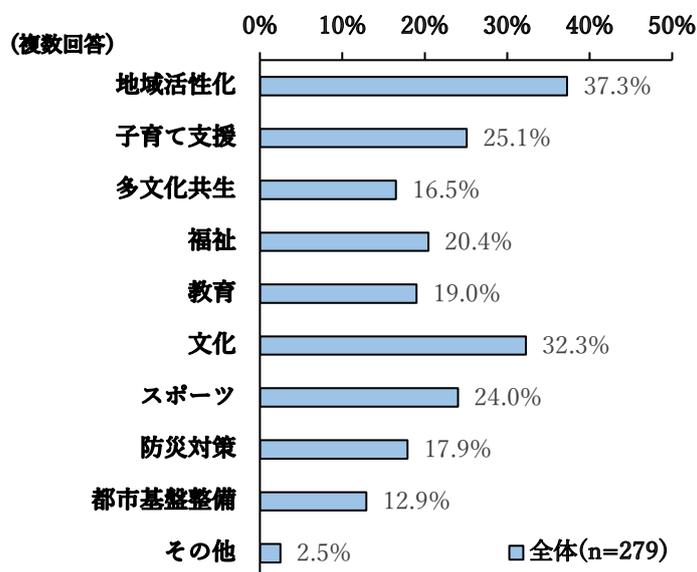
①受けてみたい授業（研究）

「幼児や小中高生たちと交流する授業」が35.1%で最も多く、次いで「地域課題の解決策を考える授業」が34.4%、「上田地域にある他の大学の授業」が27.6%となっています。



②授業や課外活動などで取組んでみたい行政課題

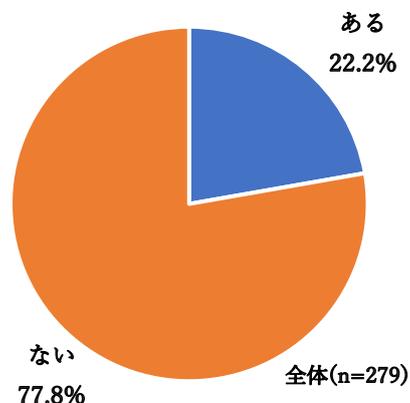
「地域活性化」が37.3%で最も多く、次いで「文化」が32.3%、「子育て支援」が25.1%となっています。



(3) 地域との関わりについて

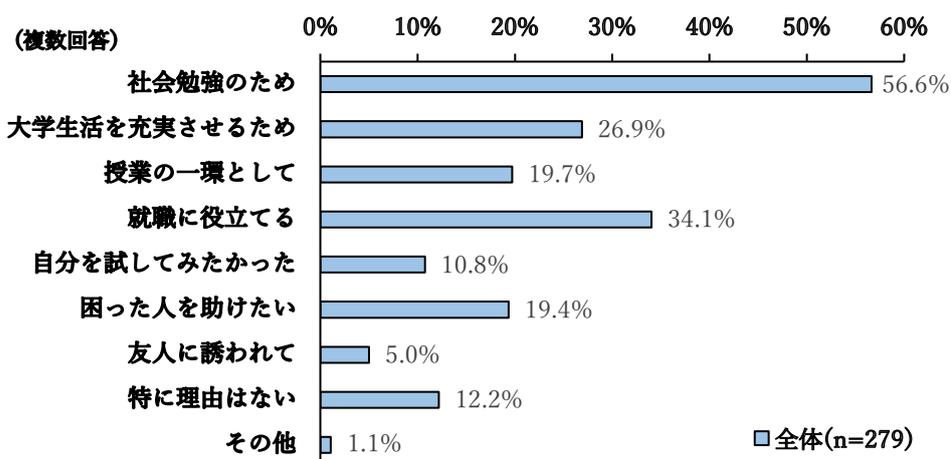
①上田市の市民団体や企業と連携して取り組んだこと・活動（ボランティア活動含む）（以下、「地域での活動」）の有無

「ある」が22.2%、「ない」が77.8%となっています。



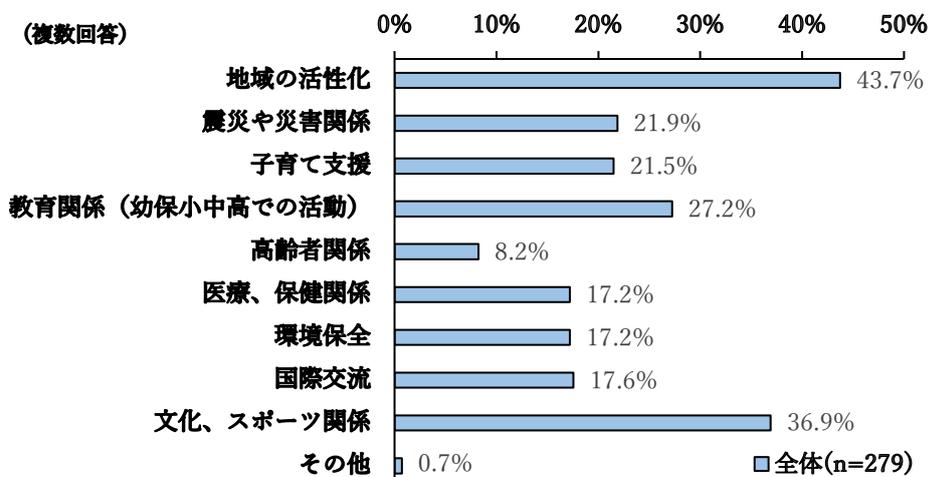
②地域での活動に参加する目的

「社会勉強のため」が56.6%で最も多く、次いで「就職に役立てる」が34.1%、「大学生活を充実させるため」が26.9%となっています。



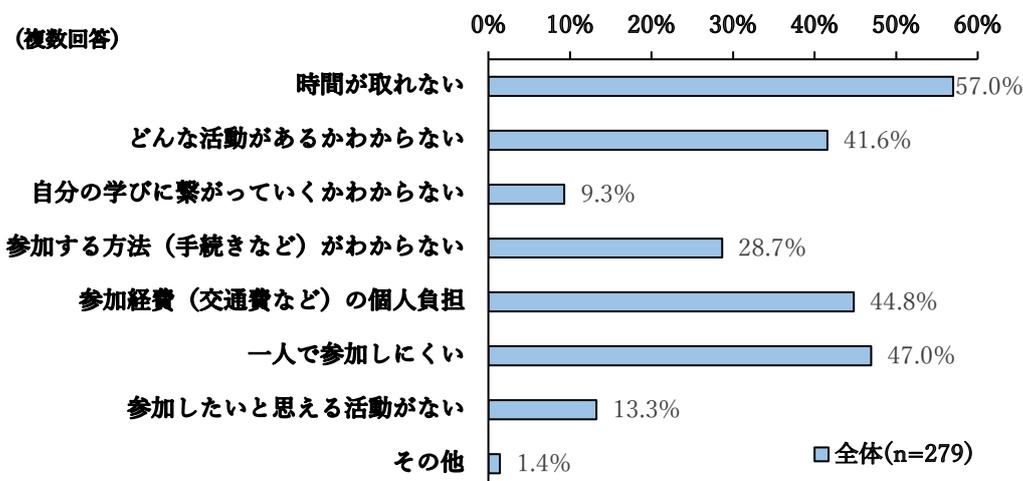
③参加したいと思う地域での活動

「地域の活性化」が43.7%で最も多く、次いで「文化、スポーツ関係」が36.9%、「教育関係（幼保小中高での活動）」が27.2%となっています。



④地域での活動に参加したいと思ったときに支障となること

「時間が取れない」が57.0%で最も多く、次いで「一人で参加しにくい」が47.0%、「参加費（交通費など）の個人負担」が44.8%となっています。



⑤これまでの地域での活動（自由記載 抜粋）

- ・学習支援、こども食堂で地域の子供たちと遊ぶ
- ・地域でのボランティア活動（イベント手伝い、文化施設の窓口、訪問支援など）
- ・地域活性化を目的としたイベントの開催
- ・市内各地域での研究活動
- ・農業体験（稲刈り、ぶどうの摘粒など）への参加

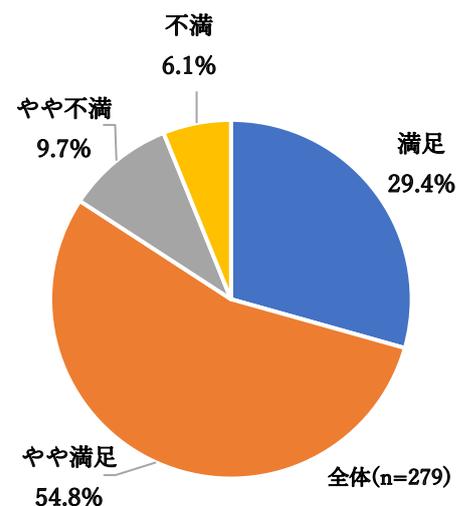
⑥今後、地域で活動してみたい内容（自由記載 抜粋）

- ・環境保全に関すること（ごみ問題、獣害対策、植林など）
- ・地域活性化につながるイベントやボランティア活動
- ・歴史や文化（文化財の魅力など）・芸術、スポーツに関する活動
- ・防災減災に関すること
- ・子供や高齢者に関わること
- ・海外の人や社会人経験のある方、他の大学の方との交流

（4）上田市での生活について

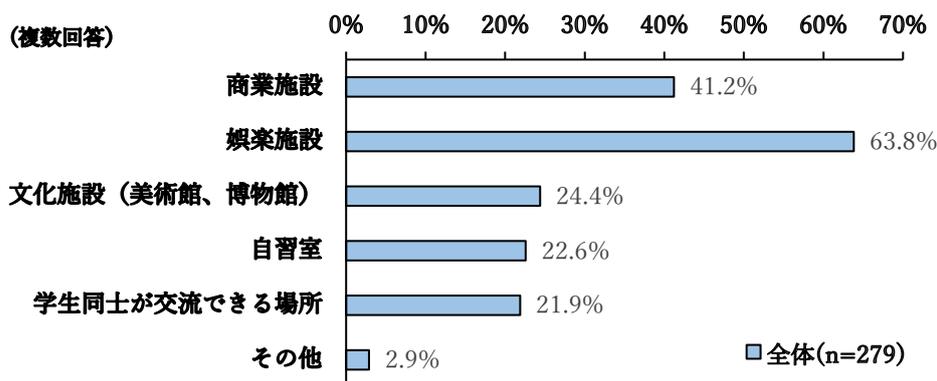
①上田市への満足度

「満足」が29.4%、「やや満足」が54.8%、「やや不満」が9.7%、「不満」が6.1%となっています。



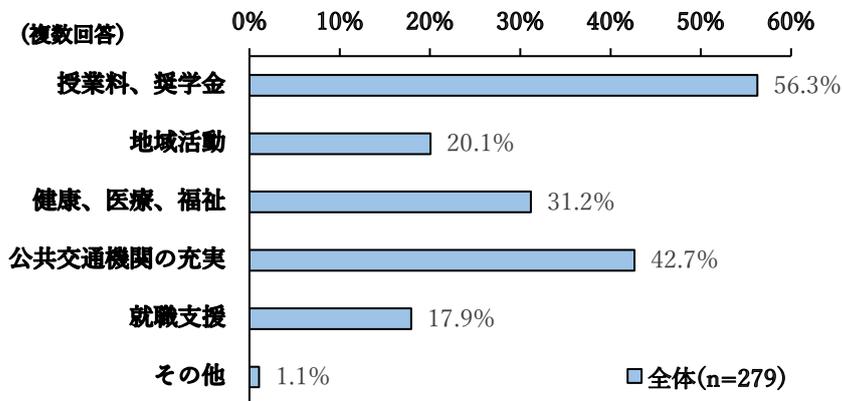
②上田市にあった方が良くと思う施設

「娯楽施設」が63.8%と最も多く、次いで「商業施設」が41.2%、「文化施設（美術館、博物館）」が24.4%となっています。



③上田市に支援してほしい分野

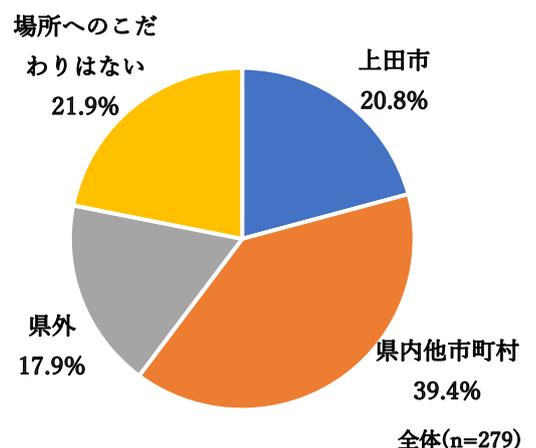
「授業料、奨学金」が56.3%と最も多く、次いで「公共交通機関の充実」が42.7%、「健康、医療、福祉」が31.2%となっています。



(5) 就職について

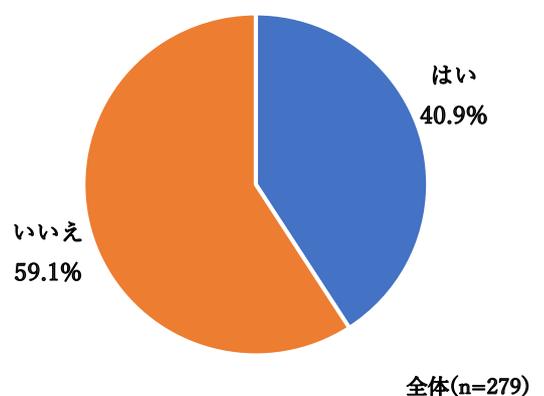
①卒業後、就職を希望する地域

「県内他市町村」が39.4%と最も多く、次いで「場所へのこだわりはない」が21.9%、「上田市」が20.8%となっています。



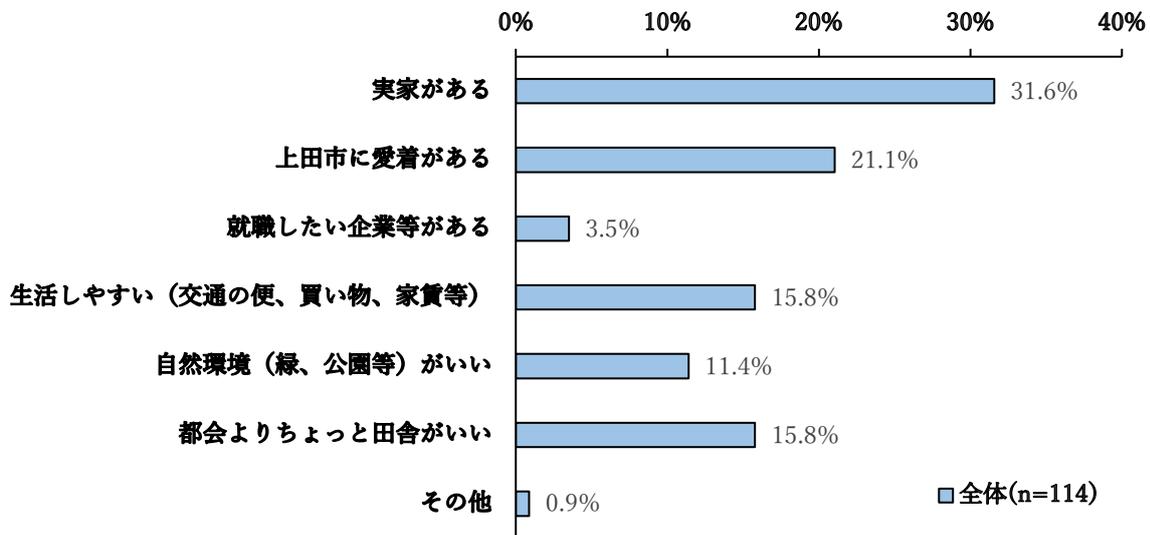
②上田市に住み続けたい、移り住みたい

「はい」が40.9%、「いいえ」が59.1%となっています。



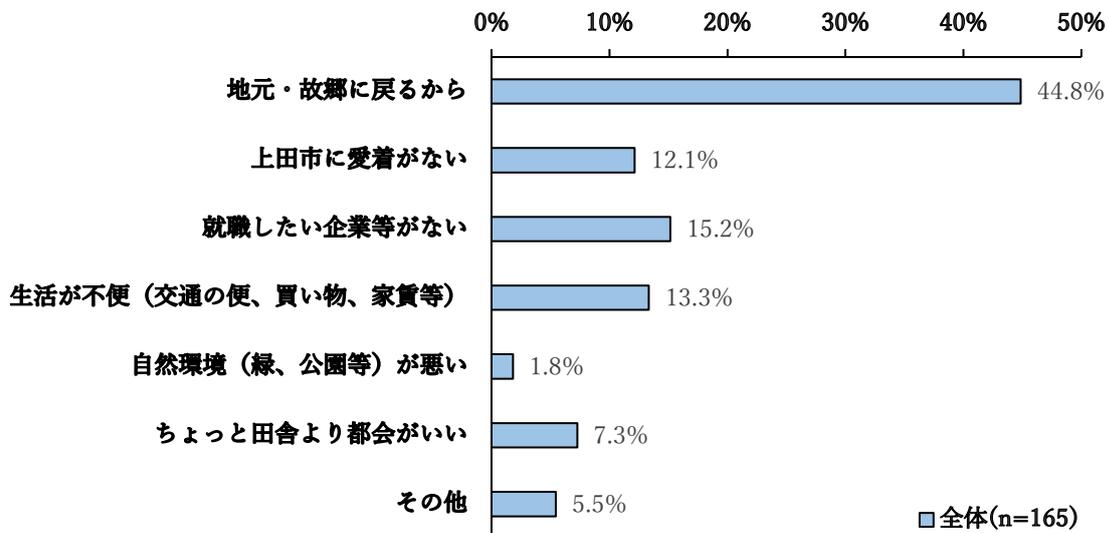
③上田市に住み続けたい、移り住みたい理由 (②で「はい」を選択した方のみ回答)

「実家がある」が31.6%と最も多く、次いで「上田市に愛着がある」が21.1%、「生活しやすい(交通の便、買い物、家賃等)」と「都会よりちょっと田舎がいい」が15.8%となっています。



④上田市に住みたくない理由 (②で「いいえ」を選択した方のみ回答)

「地元・故郷に戻るから」が44.8%と最も多く、次いで「就職したい企業がない」が15.2%、「生活が不便(交通の便、買い物、家賃等)」が13.3%となっています。



(6) 上田市に対して感じていることや、これからどのような街になって欲しいかといった意見 (自由記載 抜粋)

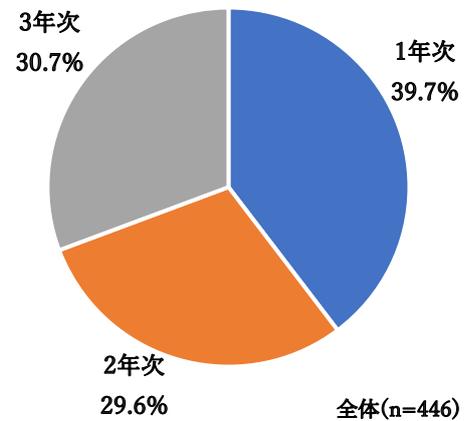
- ・市民の自発的な活動、文化を守ろうとする風土が魅力的な都市
- ・自然も多く、上田市を盛り上げようとする大人が多くいい街
- ・比較的住みやすいが、色々なこと(支援、公共設備、公共交通、道路など)が中途半端
- ・商業施設や休日に楽しめるスポットがもっと欲しい
- ・車がないと不便であると学生で感じている人が多い(車への支援があると嬉しい)

4 高校生調査結果

(1) 回答者の属性

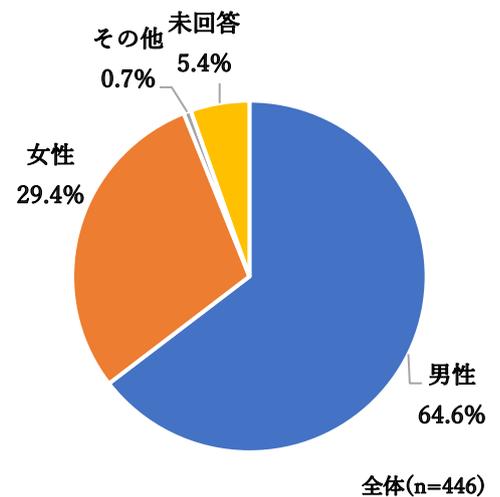
①学年

「1年次」が39.7%で最も多く、次いで「3年次」が30.7%、「2年次」が29.6%となっています。



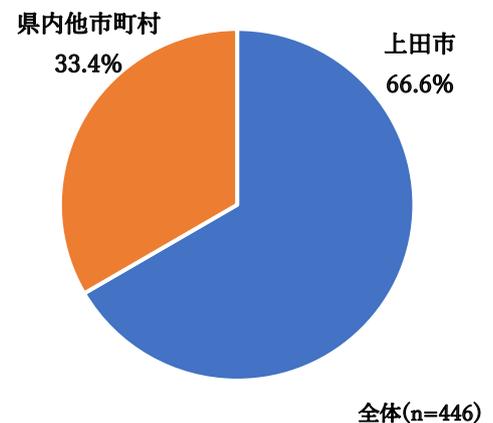
②性別

「男性」が64.6%、「女性」が29.4%、「その他」が0.7%、「未回答」が5.4%となっています。



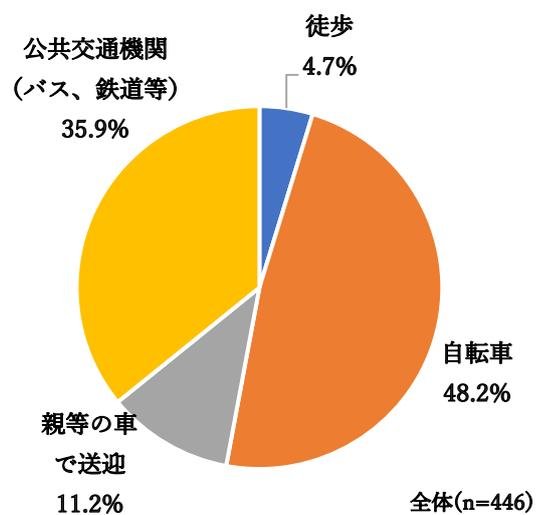
③居住地

「上田市」が66.6%、「県内他市町村」が33.4%となっています。



④主な通学方法

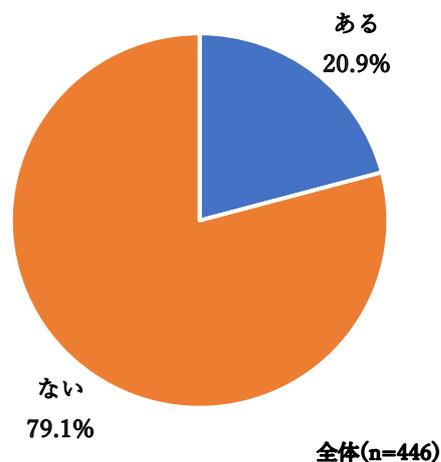
「自転車」が48.2%で最も多く、次いで「公共交通機関（バス、鉄道等）」が35.9%、「親等の車で送迎」が11.2%となっています。



(2) ボランティア活動について

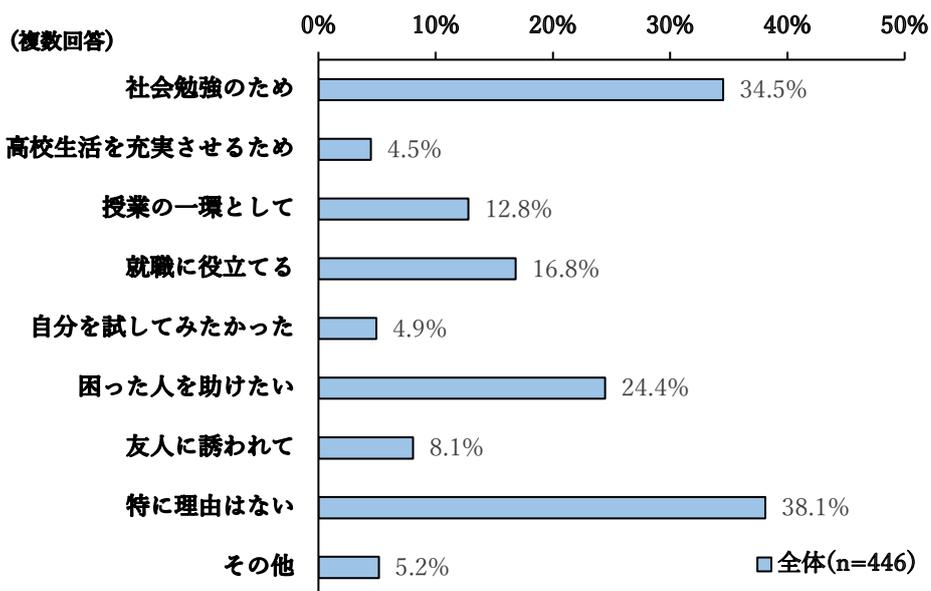
①ボランティア活動への参加の有無

「ある」が20.9%、「ない」が79.1%となっています。



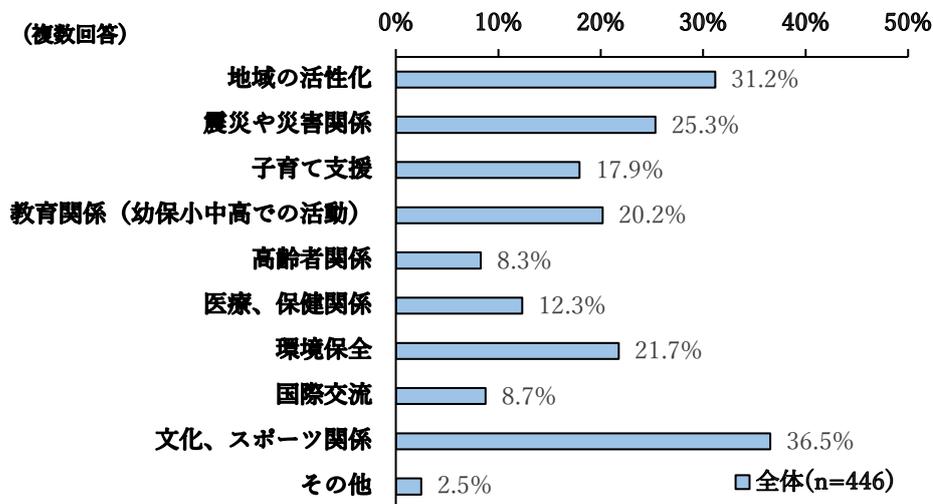
②ボランティア活動に参加する目的

「特に理由はない」が38.1%で最も多く、次いで「社会勉強のため」が34.5%、「困った人を助けたい」が24.4%となっています。



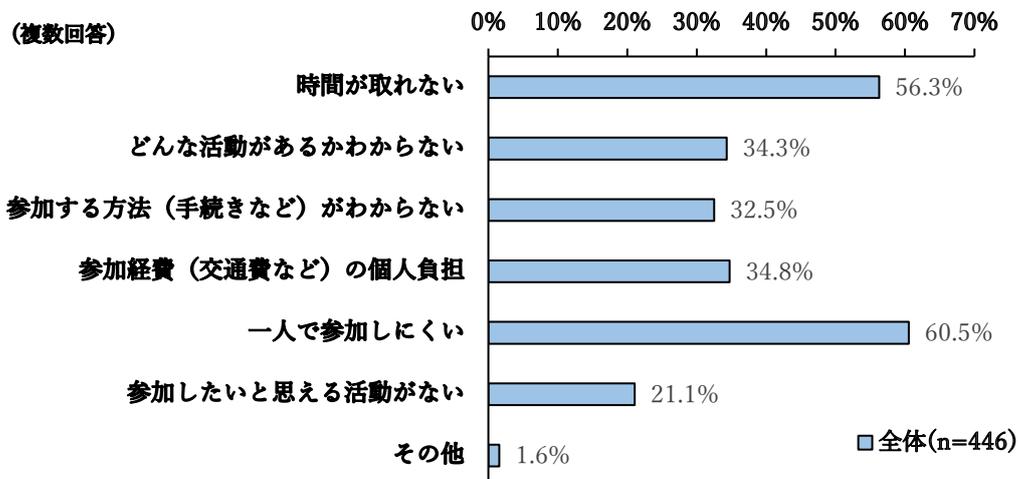
③参加したいと思うボランティア活動

「文化、スポーツ関係」が36.5%と最も多く、次いで「地域の活性化」が31.2%、「震災や災害関係」が25.3%となっています。



④ボランティア活動をしたときに支障となること

「一人で参加しにくい」が60.5%と最も多く、次いで「時間が取れない」が56.3%、「参加経費 (交通費など) の個人負担」が34.8%となっています。



⑤これまでに経験したボランティア活動 (自由記載)

- ・小学生に対する活動 (学習支援、児童センター・子ども食堂、イベントサポートなど)
- ・清掃活動 (ごみ拾い、用水路清掃、草取りなど)
- ・高齢者施設でのサポートや交流
- ・地域や施設等のイベント参加やお手伝い
- ・NPO 法人や地域活動団体等と関わり、各種ボランティア活動

⑥今後やってみたいボランティア活動（自由記載）

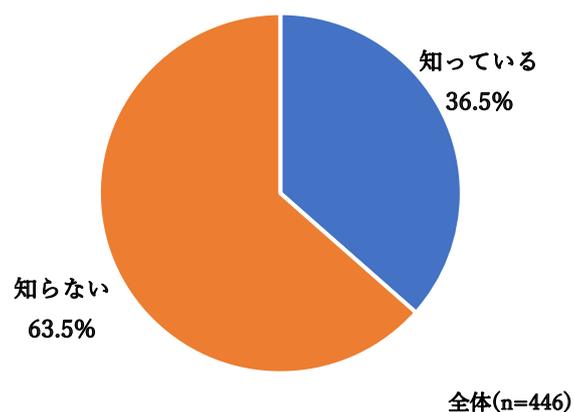
- ・災害ボランティア
- ・環境保全活動
- ・農作業の手伝い
- ・文化、スポーツ関連
- ・子供と関わること（子供と遊ぶ、保育園等手伝い、児童施設手伝い、子ども食堂など）
- ・高齢者と関わること（高齢者施設の手伝い、交流など）
- ・地域の活性化につながることに、地域の人との交流

(3) 進路について

①上田市内に5つの大学等*があることを知っていますか

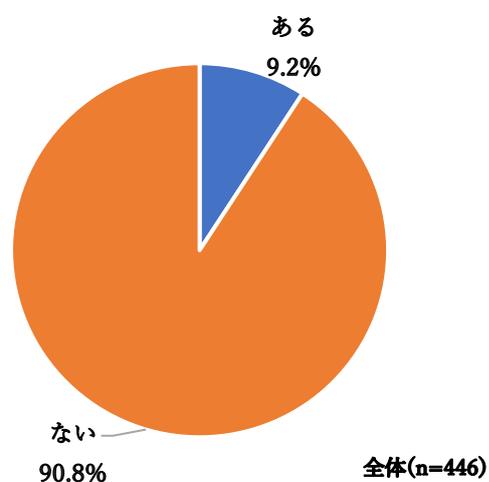
*「5つの大学等」とは、長野大学、信州大学繊維学部、筑波大学山岳科学センター、上田短期大学、長野県工科短期大学を指します。

「知っている」が36.5%、「知らない」が63.5%となっています。



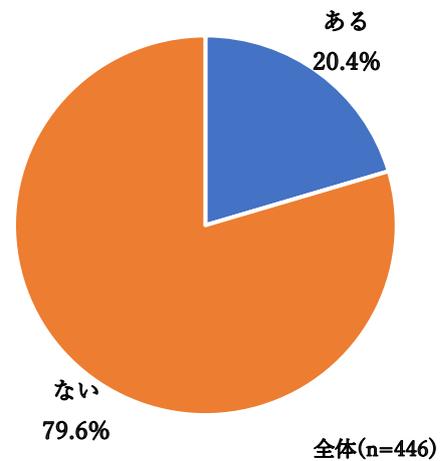
②上記の5つの大学等に進学したい学校はありますか

「ある」は9.2%、「ない」は90.8%となっています。



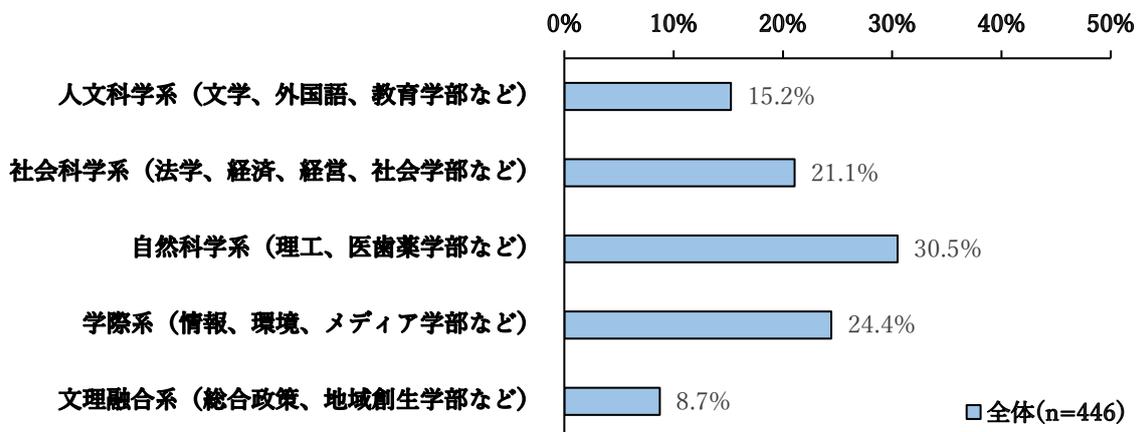
③長野県内に進学したい大学、短大、専門学校等がありますか

「ある」は20.4%、「ない」は79.6%となっています。



④進学を希望されている方は、どのような学部を目指していますか

「自然科学系（理工、医歯薬学部など）」が30.5%と最も多く、次いで「学際系（情報、環境、メディア学部など）」が24.4%、「社会科学系（法学、経済、経営、社会学部など）」が21.1%となっています。



(4) 上田市に対して感じていることや、これからどのような街になって欲しいかといった意見
(自由記載 抜粋)

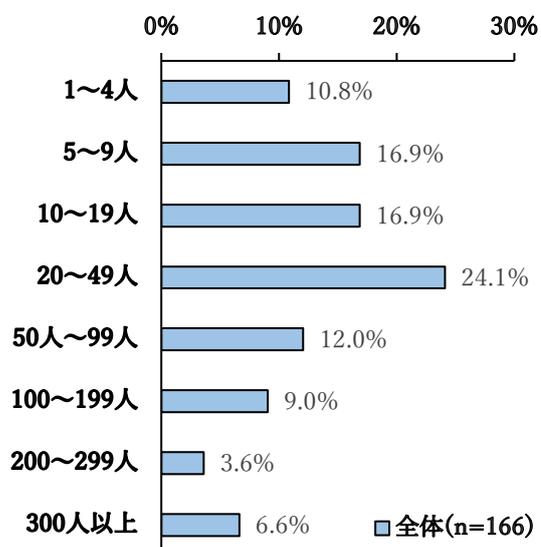
- ・災害が起きない、より一層安心・安全に暮らせる街になって欲しい
- ・高齢者や子供たちが暮らしやすい街になって欲しい
- ・公共交通の充実や歩行者・自転車利用者が安全に通学できるよう道路の整備をして欲しい
- ・教育に熱心な街にして欲しい
- ・もっと楽しい場所、遊ぶところを作ってほしい

5 企業調査結果

(1) 回答企業の属性

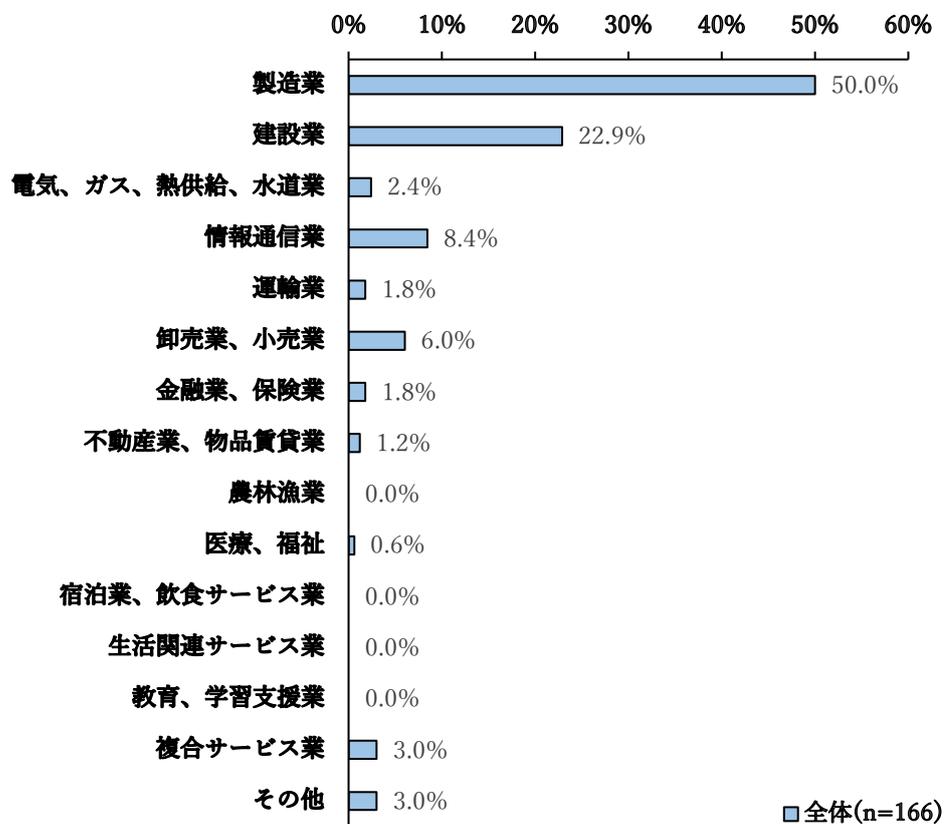
①従業員数（常用）

「20～49人」が24.1%で最も多く、次いで「5～9人」と「10～19人」がそれぞれ16.9%、「50～99人」が12.0%となっています。



②主たる事業分野

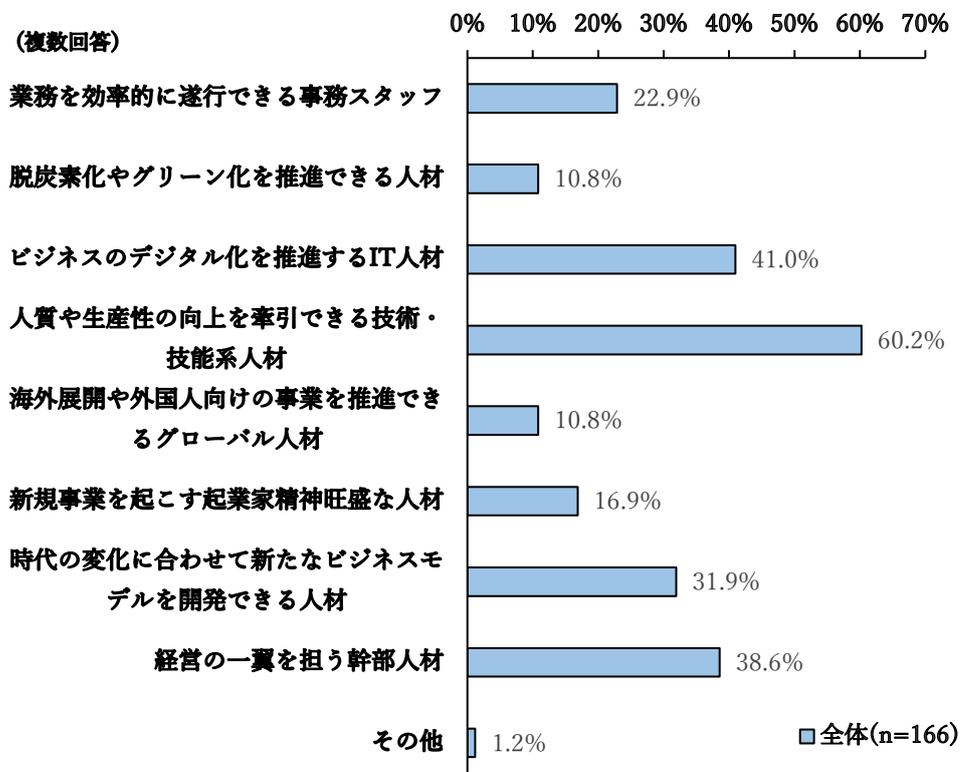
「製造業」が50.0%と最も多く、次いで「建設業」が22.9%、「情報通信業」が8.4%となっています。



(2) 人材育成（社員のスキルアップ）について

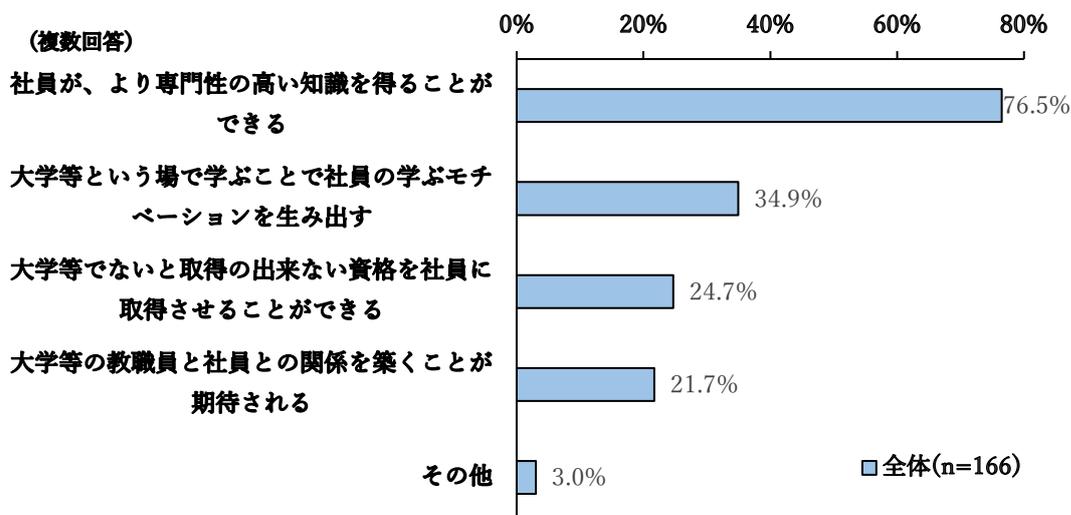
①不足している人材

「人質や生産性の向上を牽引できる技術・技能系人材」が60.2%と最も多く、次いで「ビジネスのデジタル化を推進できるIT人材」が41.0%、「経営の一翼を担う幹部人材」が38.6%となっています。



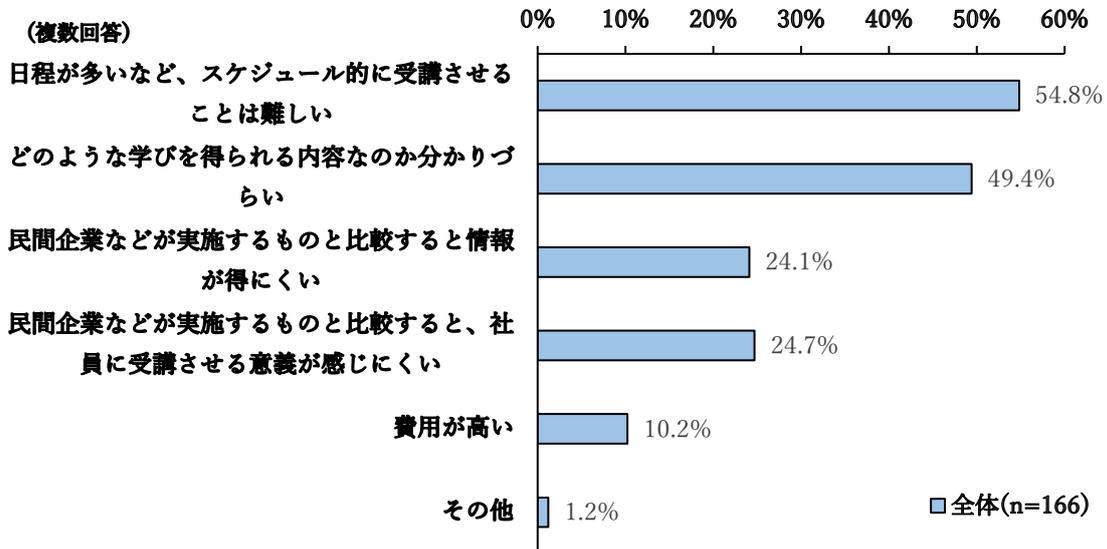
②大学等が開講する講座に対して期待すること

「社員が、より専門性の高い知識を得ることができる」が76.5%と最も多く、次いで「大学という場で学ぶことで社員の学ぶモチベーションを生み出す」が34.9%、「大学でないと取得の出来ない資格を社員に取得させることができる」が24.7%となっています。



③大学等が開講する講座を人材育成に活用する場合の課題

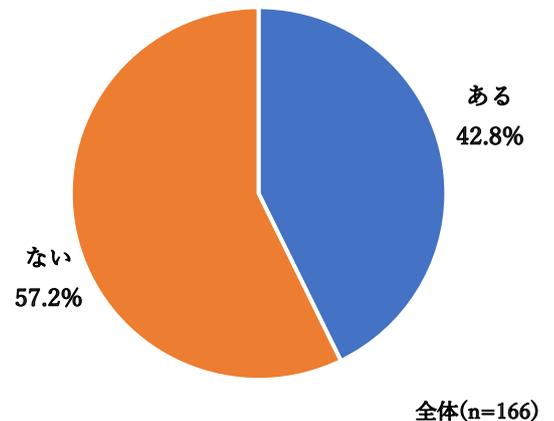
「日程が多いなど、スケジュール的に受講させることは難しい」が54.8%と最も多く、次いで「どのような学びを得られる内容なのか分かりづらい」が49.4%、「民間企業などが実施するものと比較すると、社員に受講させる意義が感じにくい」が24.7%となっています。



(3) 大学との新卒学生の採用について

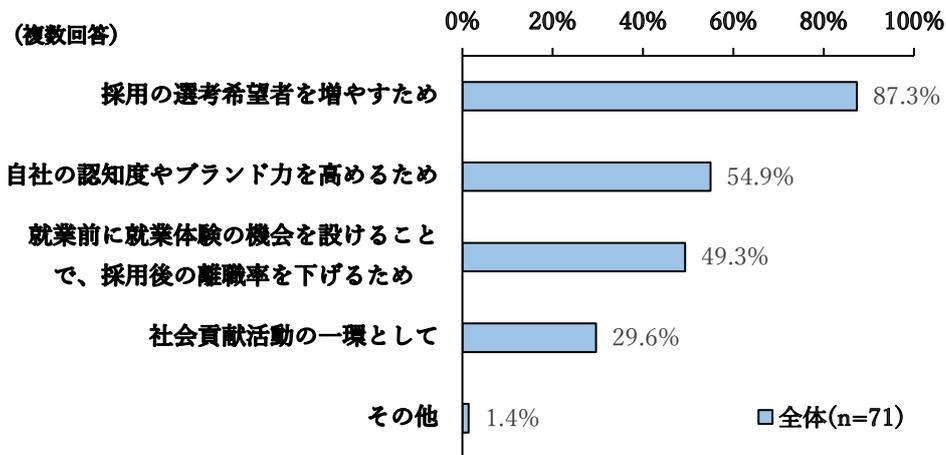
①学生の就業体験の受入れの有無

「ある」が42.8%、「ない」が57.2%となっています。



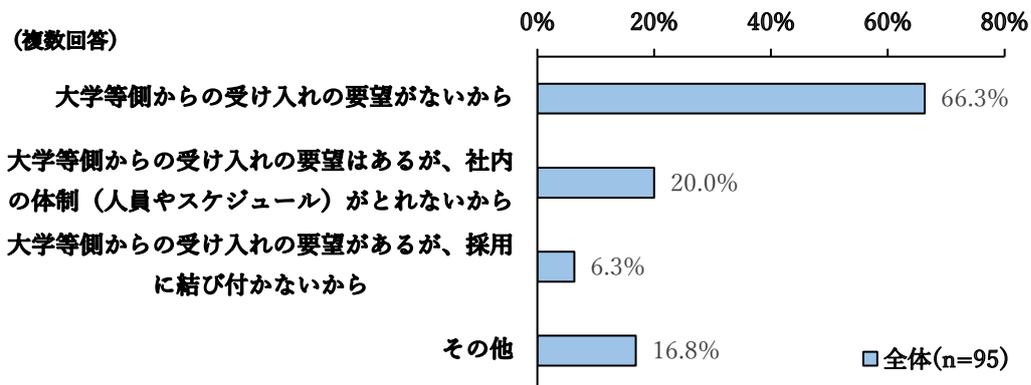
②学生の就業体験を受け入れる理由（①で「ある」を選択した企業のみ回答）

「採用の選考希望者を増やすため」が87.3%と最も多く、次いで「自社の認知度やブランド力を高めるため」が54.9%、「就業前に就業体験の機会を設けることで、採用後の離職率を下げるため」が49.3%となっています。



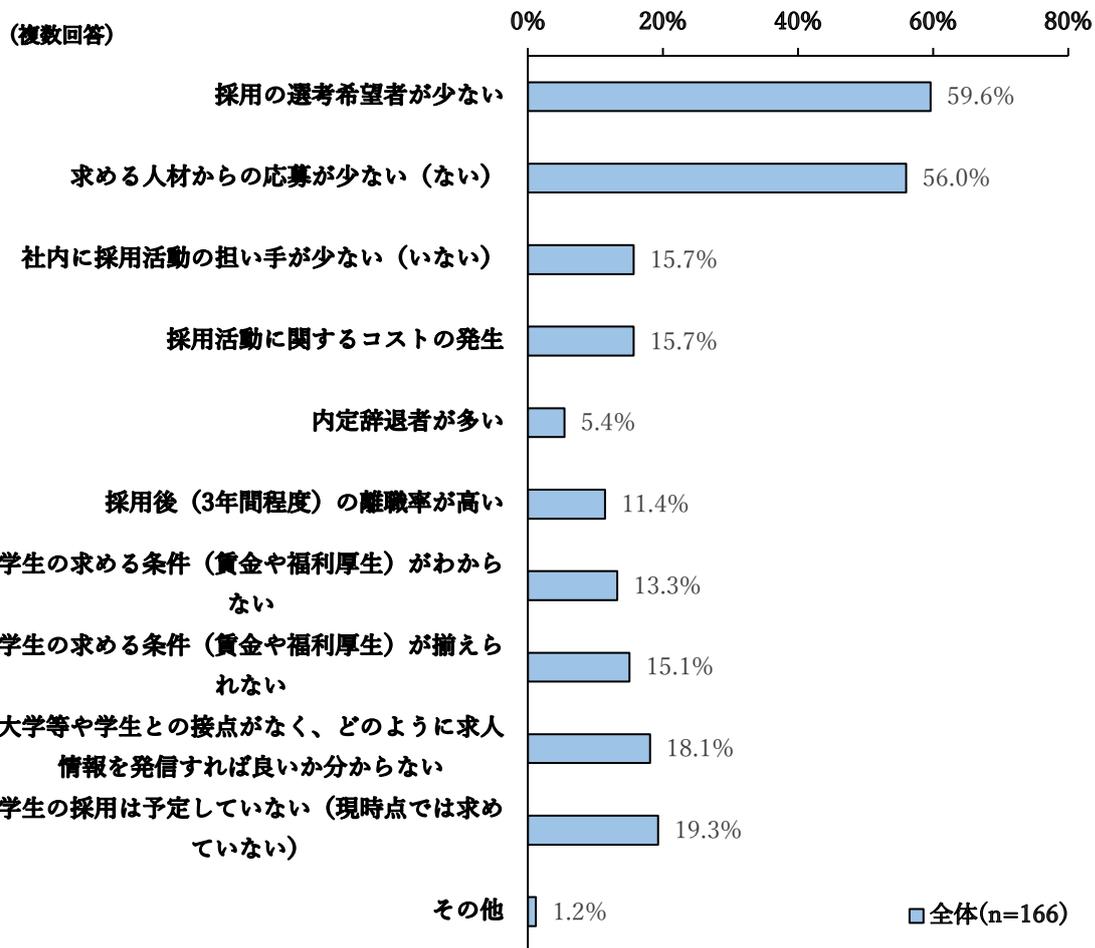
③学生の就業体験を受け入れていない理由（①で「ない」を選択した企業のみ回答）

「大学等側から受け入れの要望がないから」が66.3%と最も多く、次いで「大学等側から受け入れの要望はあるが、社内の体制（人員やスケジュール）がとれないから」が20.0%となっています。



④採用における課題

「採用の選考希望者が少ない」が59.6%で最も多く、次いで「求める人材からの応募が少ない（ない）」が56.0%、「学生の採用は予定していない（現時点では求めている）」が19.3%となっています。

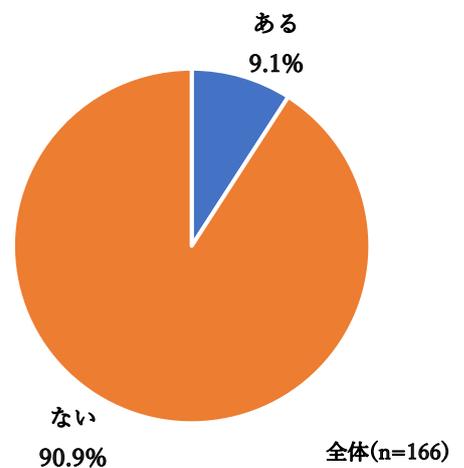


(4) 産学連携について

①大学等との産学連携の取組み状況

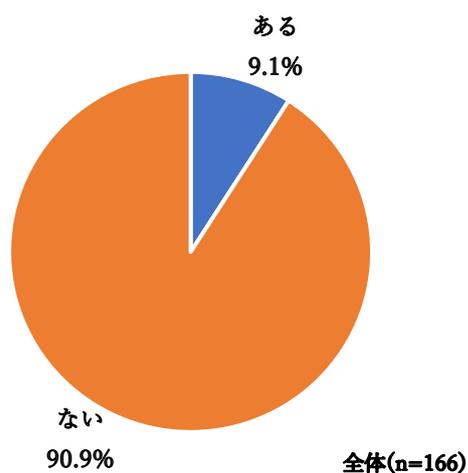
①-1 上田市内大学等との連携

「ある」が9.1%、「ない」が90.9%となっています。



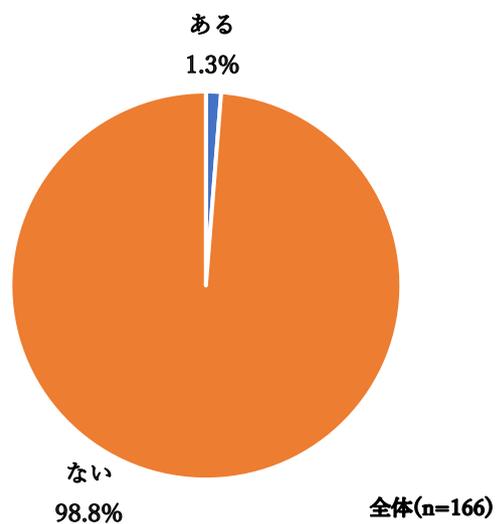
①-2 長野県内大学等との連携

「ある」が9.1%、「ない」が90.9%となっています。



①-3 その他大学等との連携

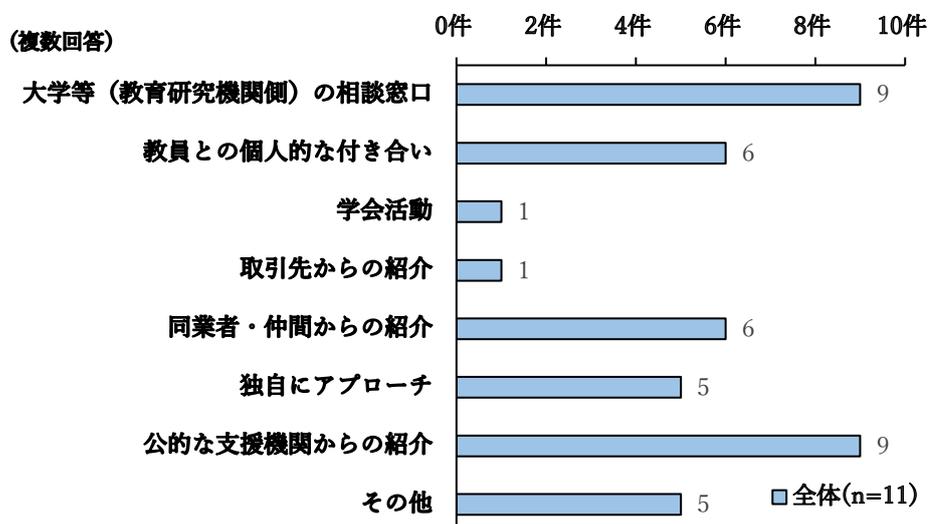
「ある」が1.3%、「ない」が98.8%となっています。



②産学連携の相手先を探した手段

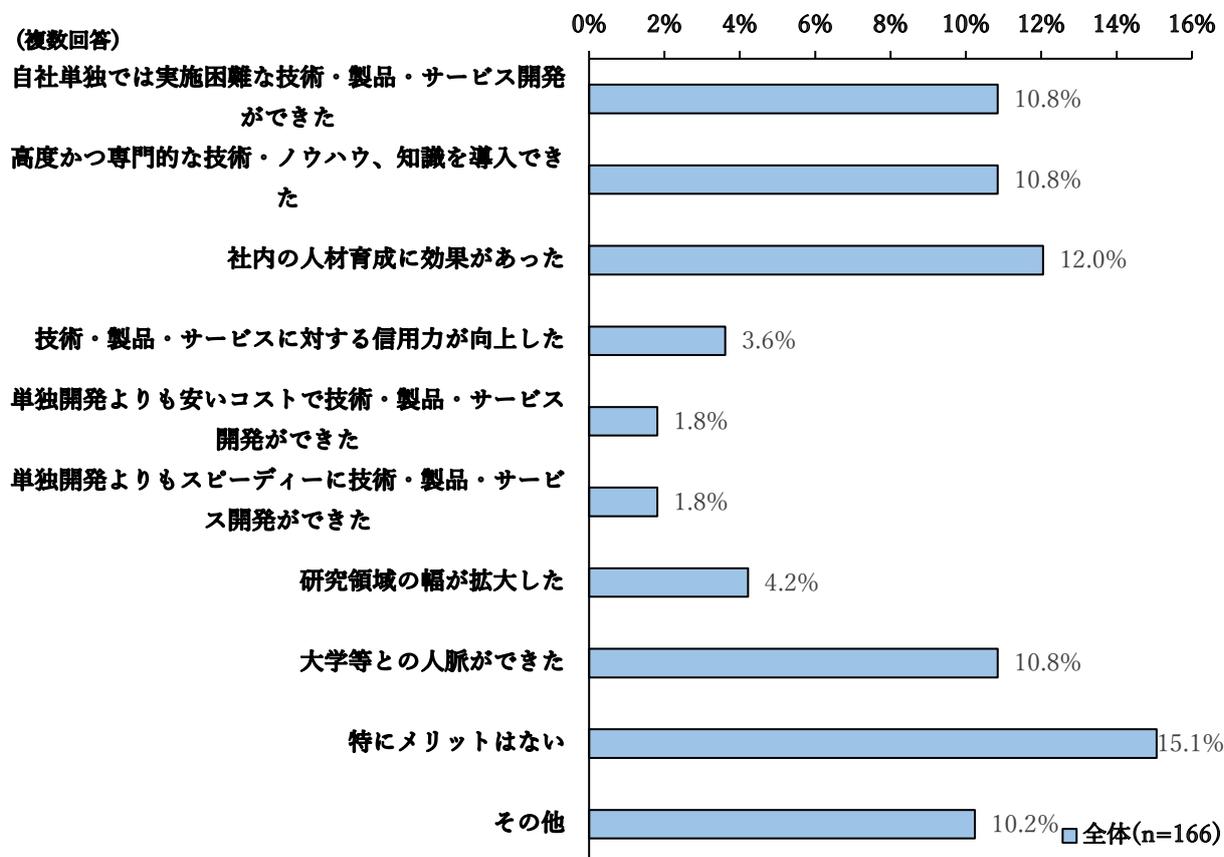
(①-1、①-2、①-3のいずれかで「ある」を選択した企業のみ回答)

「大学等（教育研究機関側）の相談窓口」と「公的な支援機関からの紹介」がそれぞれ9件で最も多くなっています。



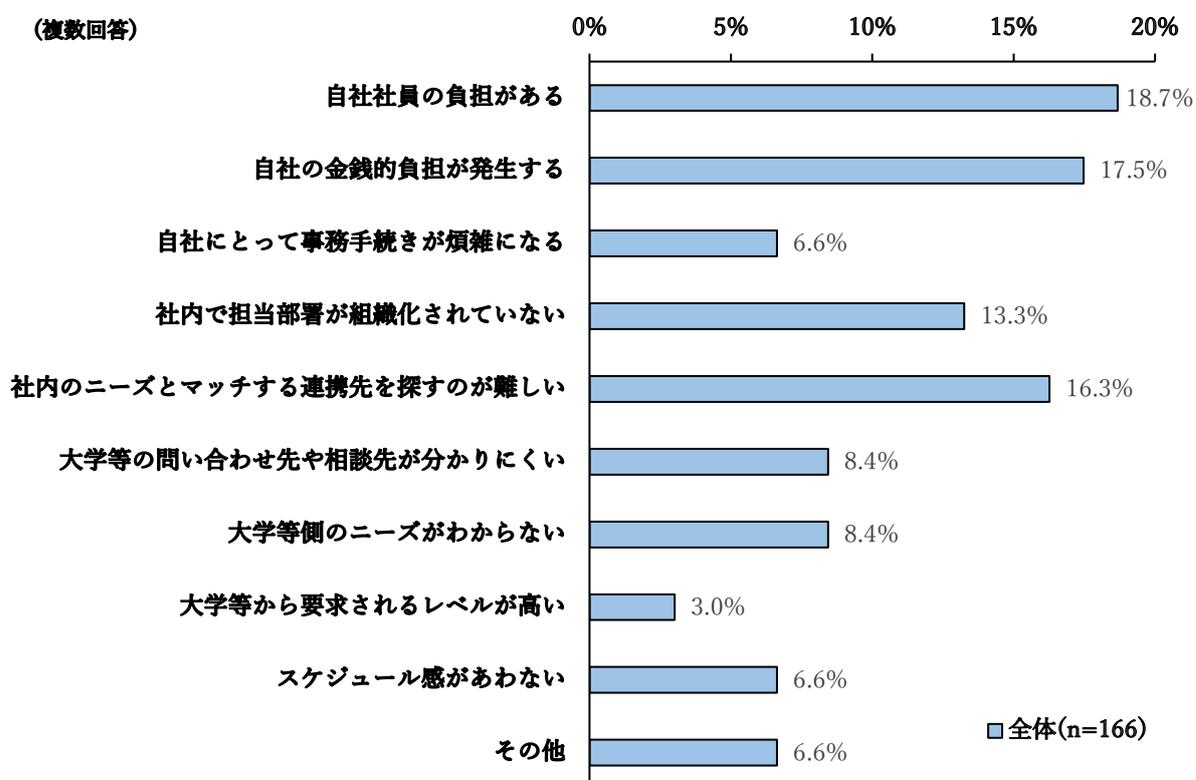
③産学連携のメリット

「特にメリットはない」が15.1%で最も多く、次いで「社内の人材育成に効果があった」が12.0%となっています。



④産学連携の課題

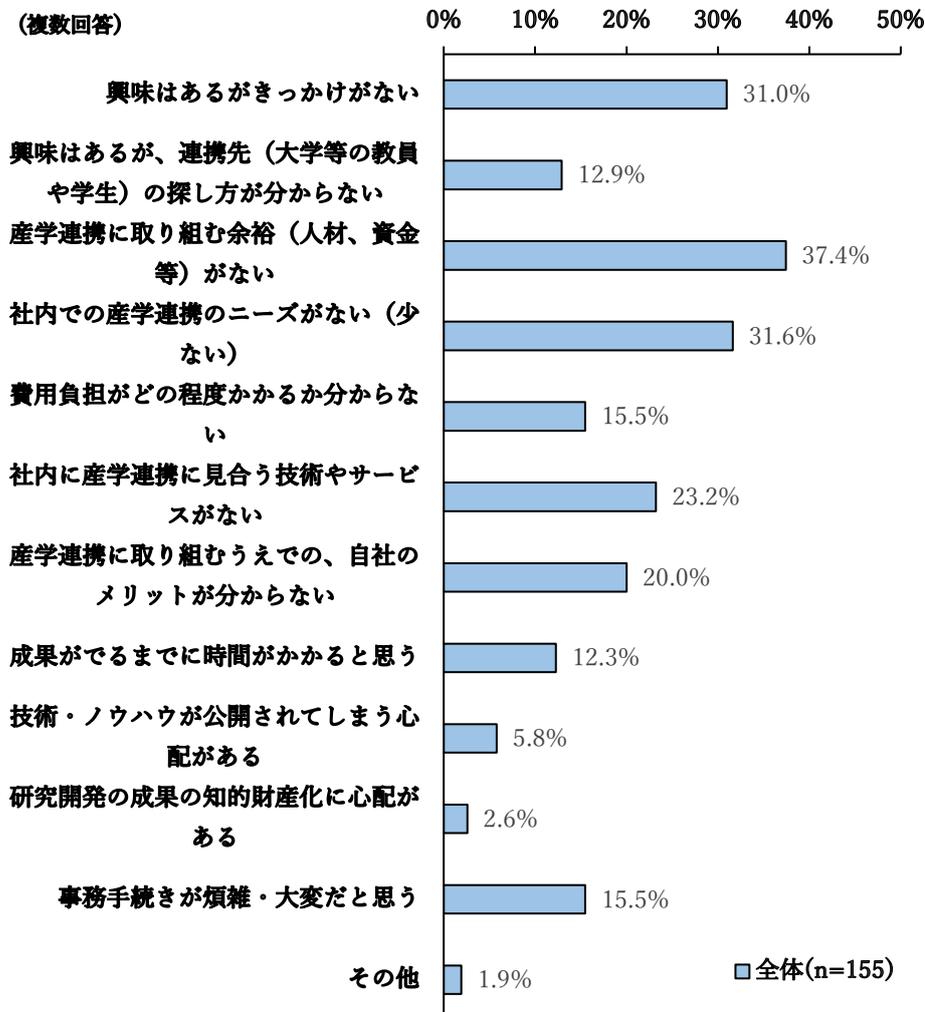
「自社社員の負担がる」が18.7%と最も多く、次いで「自社の金銭的負担が発生する」が17.5%、「社内のニーズとマッチする連携先を探すのが難しい」が16.3%となっています。



⑤産学連携をしていない理由

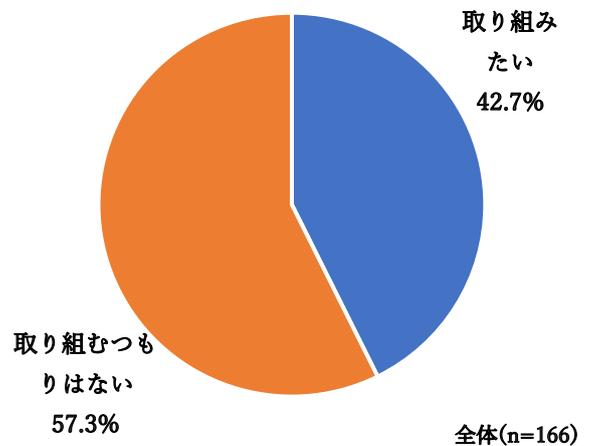
(①-1、①-2、①-3のいずれかで「ない」を選択した企業のみ回答)

「産学連携に取り組む余裕（人材、資金等）がない」が37.4%と最も多く、次いで「社内での産学連携のニーズがない（少ない）」が31.6%、「興味はあるがきっかけがない」が31.0%となっています。



⑥今後の産学連携の取組み意向

「取り組みたい」が42.7%、
「取り組むつもりはない」が57.3%となっています。



⑦今後、産学連携で取り組みたいこと (⑥で「取り組みたい」を選択した企業のみ回答)

「共同研究・共同開発 (大学等と事業者)」が52.1%と最も多く、次いで「性能評価・試験・測定・分析の実施、店舗・商品デザインの開発」が45.1%、「技術コンサルティング、相談・情報提供、アドバイス、マーケティング分析・手法」が36.6%となっています。

